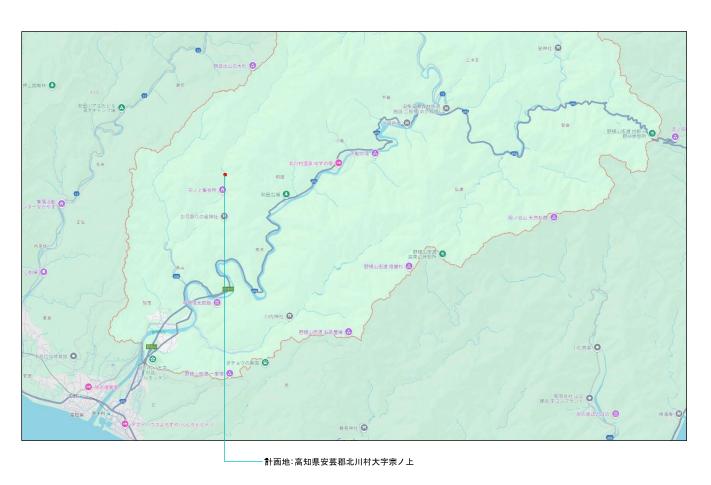
令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事

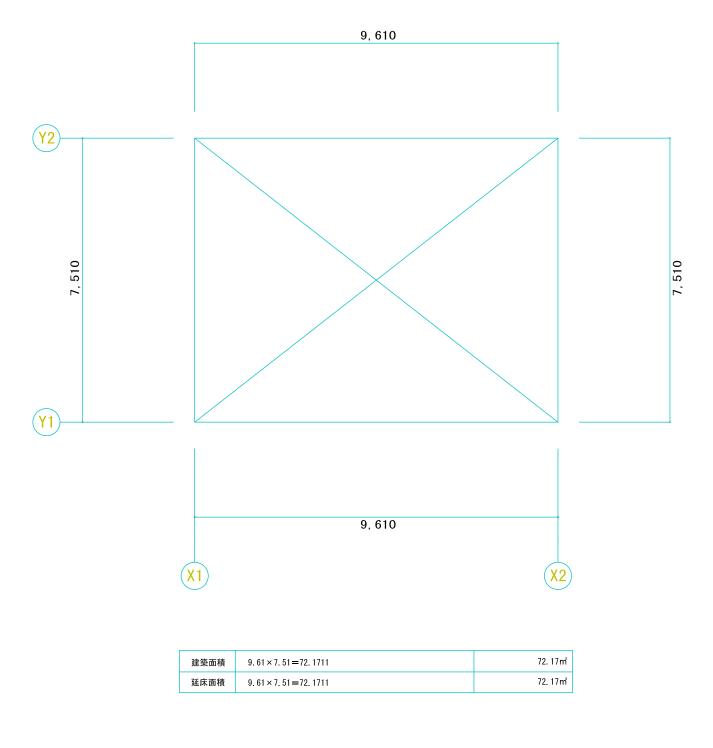
意匠-00	表紙・図面リスト						
01	付近見取図・工事概要・求積図						
02	特記仕様書 1						
03	特記仕様書2						
04	特記仕様書3						
05	配置図						
06	仕上表•平面図						
07	雑詳細図・平面図						
08	立面図						
09	断面図						
10	建具表						
11	部分詳細図						
12	外構詳細図						
構造-01	構造特記仕様(1)						
02	構造特記仕様(2)						
03	伏図						
04	軸組図(1)						
05	軸組図(2)						
06	架構詳細図(1)						
07	架構詳細図(2)						
08	雑詳細図						
09	角形鋼管柱·H形鋼はり接合工法NDコア						
	設計·施工標準仕様書【基本仕様編】						
10	NDコア設計·施工標準仕様書						
	【柱・はり組合せ編·別表 2/3 はり中広幅】						
電気-01	特記仕様書						
02	電気設備機材指定表						
03	電気設備 配置図						
	建屋 高圧 通信引込 コンセント設備平面図						
04	# C T L 20 H C T						
04 05	建屋電灯設備平面・断面図						

_				
	設計	概	要	
ェ	事	名	称	令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事
エ	事	場	所	高知県安芸郡北川村大字宗ノ上
用	途	地	域	都市計画区域外
防	火	地	域	指定無し
前	面	道	路	幅員:4m以上
法	定建	ぺ い	率	_
法	定る	字 積	率	_
日	影	規	制	-
上	7.	k	道	上水道:無し
電			力	電力電柱有(土木工事計画)
建	物	用	途	建築基準法:倉庫 小水力発電建屋
面			積	建築面積:72.17m2 / 延床面積:72.17m2
構			造	S造平屋建て
基			礎	直接基礎工法(基礎は土木工事とする)
別	途	エ	事	・特記なき限り図示に示すGLより上部を本工事とする
				・発電機等の機械
				・その他図示に示す以外の工事
ェ	事	概	要	



▲土数字 既存レベルを示す

△±数字 設計レベルを示す

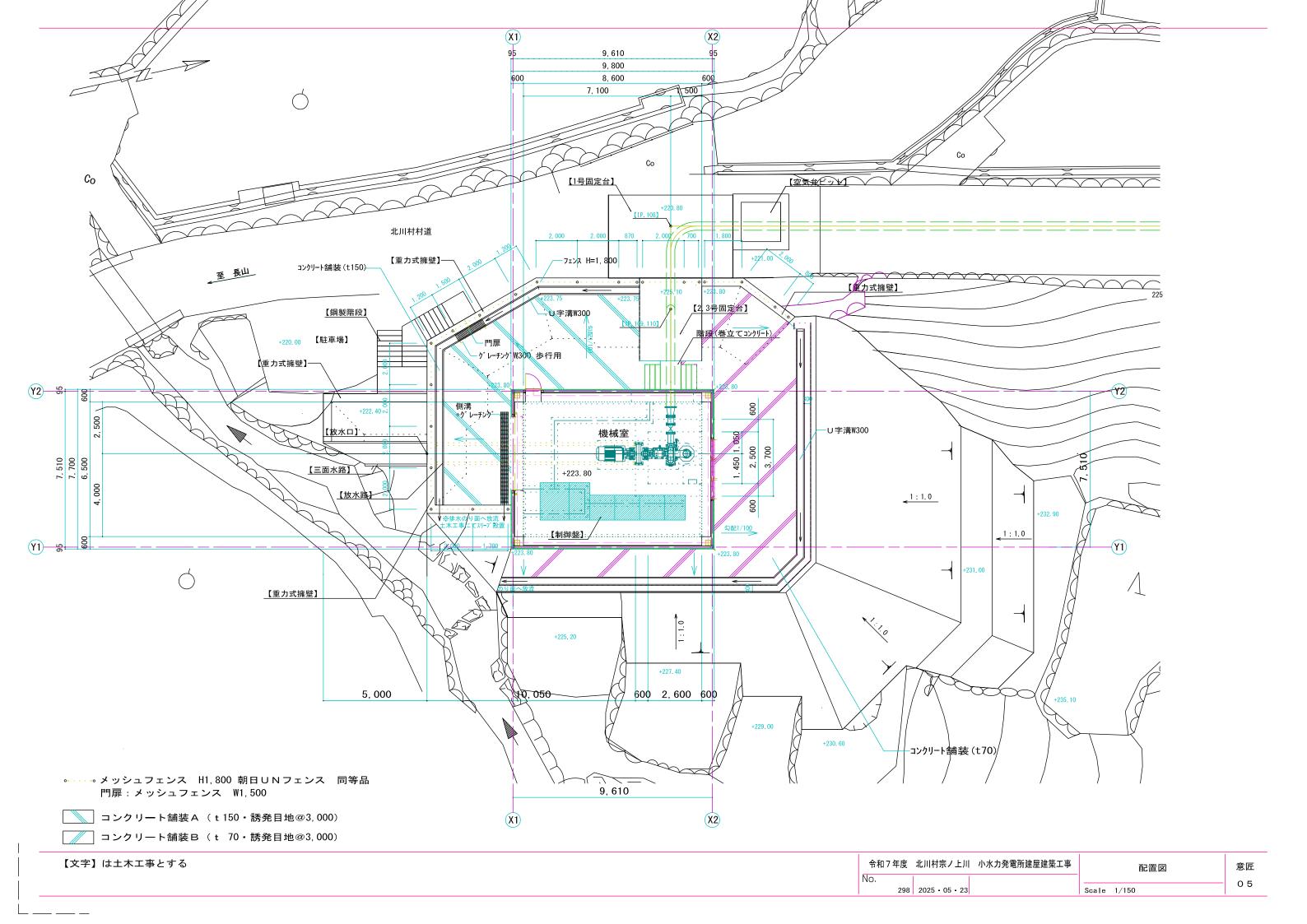


令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事	付近見取図・工事概要・求積図	意匠
No.				0.1
298	2025 - 05 - 23		Scale	0 1

	特記仕様書(建築工事編)	⑧ 技能士	工事種目	技能検定職種	技能検定作業		b. 監督職員の承諾を受ける必要のある書類. 図面. 見本等は、監督職員に提出し受領印を受ける。
1 丁香柳本	1寸心止1水百 \)注宋上尹襦/		仮設工事	とび	・とび作業・鉄笠和立て作業		c. 監督職員と協議した事項は、協議の経緯及び結果を記録して監督職員に提出をする。
I 工事概要 1.工事場所	5.知県安芸郡北川村大字宗ノ上 (都市計画区域 内・例)		鉄筋工事コンクリート工事	鉄筋施工 型枠施工	・鉄筋組立て作業 ・型枠工事作業		
2 敷地面積	- m ² (御中町画区域 内・6例)				・コンクリート圧送工事作業	① 実施工程表	 a.工事の着手に先立ち、又は着手後速やかに実施工程表を作成し、監督職員に提出する。 監督職
3. 構造 規模			鉄骨工事	鉄工	○構造物鉄工作業		実施工程表に問題があると認められる場合は、発注者及び受注者等にその旨を報告、通知する。
4. 建築面積				とび	○とび作業		b. 実施工程表に変更の必要が生じた場合は、関連工事の工程と調整のうえ、速やかに修正実施工程
	官庫(小水力発電建屋)		コンクリートフ゛ロック - ALCハ゜		- コンクリートブ・ロック工事作業		表を作成し、監督職員に提出する。監督職員は、修正実施工程表に重大な問題があると認められ
建築工事仕様			- 押出成形セメント板工事 防水工事		- エーエルシーハ゜ネル工事作業		場合は、発注者及び受注者等にその旨を報告,通知する。
1. 共通仕様 (1) 図面及び	* 特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準			防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業	(18) 施工計画書	a. 総合施工計画書
	建築工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という)による。				- 合成」,A系列的水工事作業	W-1112	1000 1000
(2) 電気設備	工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記				・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業		理の方針を定め、工事全体の大要を計画したものとする。
書を適用					・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業		(2)総合施工計画書に盛り込む内容は、工事概要,施工運営方針,受注者組織内での現場組織へのバ
(3) 受注者は	完了検査の検査には、特定行政庁が求める検査な資料等(報告書等)を用意すること。				- 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業		ックアップ体制, 現場組織, 職員業務分担, 施工条件(契約条件, 立地条件, 法的条件, 近隣協定など 品質, 環境の目標と管理方針, 重要管理事項及び主要工事の施工方針などとする。
			石工事	石材施工	- 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 - 石張り作業		由員、環境の目標と自性分割、主要自性争項及び主要工事の爬工分割などとする。 b. 施工計画書
a 44.50 / 1.49			タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業		(1)施工計画書は各工事の着手に先立ち、総合施工計画書の方針に基づいて、各工事ごとに具体的
2. 特記仕様 (1) 項目(+	番号に〇印の付いたものを適用する。		木工事	建築大工	· 大工工事作業		に計画し、品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受ける。
	は、①印の付いたものを適用する。			枠組壁建築	· 枠組壁工事作業		(2)施工計画書の内容には、管理項目(管理項目、検査項目),管理水準(管理限界,管理水準),
	かない場合は、※印の付いたものを適用する。		屋根及びとい工事	建築板金かわらぶき	・内外装板金作業・かわらぶき作業		理分担, 管理方法(時期, 方法, 頻度, 基準), 確認方法, 管理限界を外れた時の処置などを盛り込む
-	印の付いた場合は、共に適用する。		金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業	(19) 施工図等	 a. 総合図及び施工図の調整担当者は、本工事に類似の工事での施工図調整経験が豊富な者(原則と
	質に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		亚海工手	建築板金	• 内外装板金作業	9 22-21	して一級建築士の資格を有する者)とし、次により配置する。ただし、次のいずれの場合であっ
	順に記載の(別図-)は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。 、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の		左官工事	左官	左官作業		も、着工後直ちに施工図調整体制を立ち上げ、その体制, 運用, 並びにコスト調整のタイミングと
	品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針		建具工事	サッシ施工	・ピル用サッシ施工作業		の方法等について監督職員と協議する。
(平成31:	年2月8日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。			ガラス施工 自動ドア施工	・ が うえ工事作業 ・ 自動 ド 7施工作業		※ 受注者の判断と責任により、本工事に必要な者を適切に配置すること。b. 施工図を速やかに作成する。
	を書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している		カーテンウォール工事		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		D. 旭工図を迷やがに作成する。 c. 総合図とは、建築施工平面図に電気設備及び機械設備の記号等(凡例共)を記載したものとする。
	いて、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守)の規定を優先する。			サッシ施工	- ビル用サッシ施工作業		
(1, 1, 13	/ マノ かしんこ に 原 プレ グ 「ひ 0			ガラス施工	- ガラス工事作業	② 完成引渡後の	a. 完成引渡後でなければできない受注者の検査等で必要により監督職員の指示する事項検査, 調査(
1 × = + ** = - * * * * * * * * * * * * * * * *	2 建筑工市股份化(LT米) 同上去这上压声声中产类体的影響(And Andrew		塗装工事	塗装	・建築塗装作業	検査 調査	ついては、瑕疵担保期間内の監督職員の指示する時期に検査, 測定, 調査等を行い、その結果を発
J C	建築工事監理指針(上下巻) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和 4年版) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和 4年版)		内装工事	内装仕上施工	- プラスチック系床仕上げ工事作業 - カーペット系床仕上げ作業 - 木質系床仕上げ工事作業 - ポード仕上げ工事作業		者及び監督職員に報告する。
	会 建聚工事標準計劃				化粧74以工事作業	21 特別な材料の工法	- 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする
	鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会			熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業		
	※ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)			表装	• 壁装作業	② 完成時の提出図書	※完成図(作成範囲 ※設計図一式) (A3版 製本 2部)
	※ 建設副産物適正処理推進要綱		排水工事 舗装工事	配管 路面表示施工	・建築配管作業 ・溶解ペイントマーカー工事作業・加熱ペイントマシンマーカー工事作業		総完成図(CADデータの提出 総する(CDーR) しない) ※記入内容は本図面図書すべてとする。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を
1	※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修		植栽工事	- 路囲衣示施工 	・ 治療べ 1ノトマップ・エーチャー・ 加熱ペ 1ノトマップマール・エーチャー・ ・ 治園工事作業		□ 京都の内容は本図画図書りへてとりる。位上表には、パール名及び前番、色番号寺を記入する。
["	、 エチマス版が27 「 フック た スエチ 幅 な U J F F エチ 幅		但规工于		た		○
0	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。	⑨ 設計図書等の	a. 設計図書は、主要なき	『位や事項について	の設計意図を示すものであり、必ずしも工事取扱いの完成		※施工図 (CADデータ 提出部数: 1部)
	区分等 基準風速 Vo=(40) m/s 地表面粗度区分(I I I) II (II)	取扱い					※保全に関する資料 (提出部数 ※1部 部)
	積雪区分 建設省告示第1455号 別表 (36)				とに、製造者等の特定を経て、工程や下地等を考慮のうえ、		
② 電気保安技術者	 適用する		貝钍を持つて生産設計	, 裘11年, 施工を行い	. 工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。	② 工事写真・ 完成写真	※下記のものを監督員に提出する。工事写真については、隠蔽となる部分は全て写すこと。 区分 分類規格 提出部数部
C EMAL CANOS C	(1.0.0)	① 官公署その他行政	a. 工事の各段階に必要な	に官公署その他行政	への各種申請又は届出の種別, 手続き, 期行政等への届出間	九城寺兵	A
O	色工時間帯 総指定なし 指定有り (1.3.5)	等への届出等	等をあらかじめ監督職				カラー ※キャビネ版 枚
自	部位別の施工順序 ※指定なし ○指定有り 監督員と協議し、土木工事業者と調整を行うこと				きは遅滞なく行う他、発注者が行う手続きに協力、これを		カラー・全紙版(アルミ額縁入) 枚
↑ 丁惠安全計画書 제	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画 (1.3.7)		代行し、その経緯を通		する。 機関の立会検査や審査の内、発注者が申請者となるもの(完成時 ○指定アルバム
	また工事女主地工技術指列及び建設工事が永久日間エバス安網で多名に、工事女主計画 (*・・・・・) 書を監督職員に提出する。				機関の立芸検査や番査の内、発注者が中間者となるもの(
			と協議すること。	J,1 C. C.	TENTY THE CAMPANY SCHOOL SEE TO CONTRACT OF THE PROPERTY OF TH		・デジタルカメラで撮影された工事写真 (CD-R共提出)
⑤ 施工中の安全確保 a	a.工事中は火災保険に加入し保険証券(写し)を必要部数提出する。又 工事完成か施工中の安全確保		d. 工事用仮設電力と本語	段電力の電力会社へ	の申請を行うこと。		
	から引渡しまでの間の保険期間が切れないよう発注者と調整すること。					② 設備スリーブ	本工事は図示に示すGLより上部が工事範囲のため、設備に必要なスリーブ等が必要な場合は土木
b	2. 本工事受注者は下記事項等に十分留意し近隣住民及び関係官庁と話し合いの上、速やかな工事の 進捗を図るものとする。	(1) 書類の様式など			, 関連機関指定のものを使用する他、工事監理者が指定する場合はそれを利用すること。	取り合い	工事業者及び監督職員と密に連絡をとり、コンクリート打設前に設置を行うこと。
.	生抄を図るものとする。 1 工事中の騒音,振動,防塵対策		サーナー	- 『正郎 つく 1日 たり(の)	₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩		
	2 作業日(日曜、祭日)及び作業時間の協議	① 別契約の関連工事	別契約の施工と密接に関	関連する工事につい	ては、工事受注者が主導となり、各工事の調整に努めること 2	① 足場その他	足場を設ける場合、標準仕様書2.2.4によるほか、設置においては、「手すり先行工法に
	3 工事関連車輌の進入路及びやむを得ない通行止め (進入路については工事着手前に道路管理者の				-	.	るガイドライン」別紙1(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の
	立ち合いを受け維持管理に努めるとともに万一破損個所が生じた場合には受注者の負担に於いて	① 特許権等	第三者の特許権に対する			[]	手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 (2.2.
	速やかに原形に復旧すると共に工事完了後は道路管理者の承認を得ること) 4 工事関連車輌の駐車禁止及び待機場所の確保				る知的所有権に抵触する場合は、あらかじめその権利の使用 れを採用する。万一、第三者の権利を害するようなことが生 設		外部足場に設ける防護シート等
	4 工事関連単親の駐車票正及び付破場別の確保 5 工事用車輌,歩行者の交通安全に努めるためのガードマンの配備等				ルを採用する。カー、第二省の権利を告するようなことが生 設 し協議したうえで対応する。	4	●養生シート※JISA8952の I 類に適合するもの(建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの)
	6 仮設現場事務所, 資材置き場, 工事車輌の駐車スペース				I	:	・防音シート・採光防音シート・養生ネット
1 -	7 公共施設等(道路、樹木、ガス及び上下水道管等)に影響を及ぼした場合の復旧	① 設計変更			設計変更となった内容については、設計変更内容を管理		
			l するリストを作成し、		17	② 工事用水	構内既存の施設 利用できる (※有償 無償) ※利用できない
	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて				1.	· ·	
8	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと		得られたものになって			② 丁重用電土	機切匪方の協塾 利田できる(ツケ農 ・毎億) の知中でもわい
8	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて		得られたものになって b. 発注者の要望, 指示に	よって生じた設計	い。 変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。	③ 工事用電力	構内既存の施設 利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない
8	3 工事期間中の進入路,仮設に留意し、かつ部外者,通行人,近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注		得られたものになって b. 発注者の要望, 指示に c. 設計変更により工事:	よって生じた設計 エ期の延長が生じる	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。	③ 工事用電力 ④ 監督員事務所	構内既存の施設 ・利用できる (※有償 ・無償) ※利用できない ※ 設ける (規模、仕様は次による) ② 設けない
6 発生材の処理 ・	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと 引き渡しを要するもの() (1.3.11)		得られたものになって b. 発注者の要望, 指示に c. 設計変更により工事: d. 発注者の要望, 指示に 施工に着手する前には	よって生じた設計 Σ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した増	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 滅内訳書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積		C
3 発生材の処理 ・	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの () (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:)		得られたものになって b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事: d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前に 書等を含む) を監督聯	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した増 員に提出し、その	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内訳書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 「監を受ける。	④ 監督員事務所	※ 設ける(規模, 仕様は次による)※ 設けない
3)発生材の処理 ・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者,通行人,近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・現場において再利用を図るもの()		得られたものになって b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事: d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前に 書等を含む) を監督聯 e. 増減内訳書におけるこ	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した増 員に提出し、その	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内訳書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 「監を受ける。		※ 設ける(規模, 仕様は次による)
を の の の の の の の の の の の の の	3 工事期間中の進入路, 仮設に留意し、かつ部外者, 通行人, 近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの () (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:)		得られたものになって b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事 d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前には 書等を含む) を監督職 e. 増減内訳書におけるこ 単価を採用する。	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計: 曽滅額を明示した増 員に提出し、その エ事単価は、現場説	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内訳書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 「監を受ける。	④ 監督員事務所	※ 設ける(規模, 仕様は次による)
8 6 発生材の処理 ・ ・ ・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・現場において再利用を図るもの() の再生資源化を図るもの(①コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。		得られたものになって b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事 d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前に記 書等を含む) を監督聯 e. 増減内駅書におけるご 単価を採用する。 f. 設計変更に伴う次の[よって生じた設計 工期の延長が生じる よって生じた設計: 曽滅額を明示した増 員に提出し、その に事単価は、現場説 図書作成一式の作成	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内訳書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 係諾を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事	① 監督員事務所 ① 埋戻し及び盛土	※ 設ける(規模、仕様は次による) 設けない 材料及び工法 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示) による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書 (施工条件明示) による。(3.2.3)(表3.2
6) 発生材の処理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・現場において再利用を図るもの() 再生資源化を図るもの()コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。		得られたものになって。 b. 発注者の要望, 指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望 指示に 施工に着手する前に 書等を含む。 e. 増減内駅書における。 増減内駅書における。 f. 設計変更に伴う次の g. 材料部品, 部位相互間 付方法等の軽微な変態	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計: 曽減額を明示した均 員に提出し、その に事単価は、現場防 図書作成一式の作成 の納まり,取り合し 更は、監督職員の指	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。 場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内訳書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 係諾を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援, 協力を行う。※変更申請図面, 計算書類	① 監督員事務所 ① 埋戻し及び盛土	※ 設ける(規模、仕様は次による) 設けない 数けない 数けない 数料及び工法 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示)による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書 (施工条件明示)による。(3.2.3)(表3.2
6 発生材の処理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・現場において再利用を図るもの() 再生資源化を図るもの()コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		得られたものになって。 b. 発注者の要望, 指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望, 指示に 施工に着手する前に 書等を含む) を監督る 増滅内駅書におけるこ 単滅内駅まにおけるこ も 設計変更に伴う次の g. 材料部品, 部位相互間 付方法等の軽微な変 期の変更は行わない。	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計: 曽滅額を明示した均 員に提出し、その: エ事単価は、現場院 図書作成一式の作成 の納まり,取り合し 更は、監督職員の指	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 滅内駅書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 係諾を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援、協力を行う。※ 変更申請図面, 計算書類 部の調整または工法の関係で、材料, 寸法, 取付位置, 取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理	※ 設ける(規模、仕様は次による) 設けない 設けない お料及び工法 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示)による。 (3.2.3)(表3.2.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.2.3.3)(.
6 発生材の処理 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・ 引き渡しを要するもの(得られたものになって。 b. 発注者の要望,指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望,指示に 施工に着手する前に対 書等を含む)を監督職 e. 増減内駅書におけるこ 単価を採用する。 f. 設計変更に伴う次の g. 材料部を品,部位相互間 付方法等の軽微な変更 期の変更は行わない。 h. 工事契約締結時に、。	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計: 曽減額を明示した地 員に提出し、そのが 正事単価は、現場防 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提昇	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 滅内配書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 系器を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援, 協力を行う。※ 変更申請図面, 計算書類 部の調整または工法の関係で、材料, 寸法, 取付位置, 取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 エ (コスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理	※ 設ける(規模, 仕様は次による) 設けない 材料及び工法 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示)による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書 (施工条件明示)による。(3.2.3)(表3.3)(表4)(※) 機外搬出適切処理 協議による (3.2.4)(※) 構外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
6 発生材の処理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの() (1.3.11) ・特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・現場において再利用を図るもの() () 再生資源化を図るもの() コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ※工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 又は AS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。		得られたものになって。 b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前に対 書等を含む。 e. 増減内を監督職 他価を採用する。 単価を採用に伴う次の g. 材料が法等の軽微な変弱 期の変更は行わない。 h. 工事契約図書への反映。	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した地 員に提出し、そのが エ事単価は、現場防 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提得 を行い、監督職員の	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施減内訳書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 成群を受ける。明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援,協力を行う。※変更申請図面,計算書類 部の調整または工法の関係で、材料,寸法,取付位置,取示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 エ にコスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器,材料等の搬入	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理	※ 設ける(規模、仕様は次による)
8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・ 引き渡しを要するもの(得られたものになって。 b. 発注者の要望. 指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望. 指示に 施工に着手する前に対 書等を含む。 e. 増減内を監督職 他価を採用する。 単価を採用に伴う次の g. 材料が法等の軽微な変弱 期の変更は行わない。 h. 工事契約図書への反映。	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した地 員に提出し、そのが エ事単価は、現場防 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提得 を行い、監督職員の	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 滅内配書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 系器を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援, 協力を行う。※ 変更申請図面, 計算書類 部の調整または工法の関係で、材料, 寸法, 取付位置, 取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 エ (コスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理	※ 設ける(規模、仕様は次による)
・ 発生材の処理・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの(得られたものになって。 b. 発注者の要望,指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要要と指示に 施工に着手する前に計 書等を記りを監督職 e. 増減内駅(書におけるご 単価を採用する。 f. 設計変更に伴う次の[g. 材料部品,部位相互間 付方法等の軽微な変] 期の変更約締結時に、 事契約図書への反映: に必要な搬入口及びi	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽滅額を明示した地 員に提出し、そのが エ事単価は、現場防 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提得 を行い、監督職員の	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施減内訳書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 成群を受ける。明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援,協力を行う。※変更申請図面,計算書類 部の調整または工法の関係で、材料,寸法,取付位置,取示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 エ にコスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器,材料等の搬入	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理3 山留めの撤去	※ 設ける(規模、仕様は次による) 設けない 材料及び工法 ・ A種 ① B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書 (施工条件明示)による。
8 3 発生材の処理 - - - - - - - - - - - - -	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの(① 工事に付帯する	得られたものになって。 b. 発注者の要望,指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望 指示に 施工に着着む。を監督る 事等を配替る。 単価を採用する。 f. 設計変更品,部を相互信 付方法要し、部を他なない。 h. 工事契約総書への反及び。 任において行う。 工事用機器、材料等の	よって生じた設計 工期の延長が生じる よって生じた設計: 曽滅額を明示した増 員に提出し、その。 に事単価は、現場院 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提奨 を行い、監督職員の指 を行い、監督職員の指 を行い、監督職員の指	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施減内訳書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 成群を受ける。明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援,協力を行う。※変更申請図面,計算書類 部の調整または工法の関係で、材料,寸法,取付位置,取示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 エ にコスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器,材料等の搬入	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理3 山留めの撤去	※ 設ける(規模, 仕様は次による)
 6) 発生材の処理 7) 材料の品質等 4 2 3 4 5 6 	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの(① 工事に付帯する 作業材料等	得られたものになって。 b. 発注者の要望,指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の要望,指示に 施工に着手する前に 準等を軟制を監督る。 単価を採用する。 f. 設計変更に出りる。 が表す。 が、で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	よって生じた設計 工期の延長が生じる よって生じた設計: 曽滅額を明示した増 員に提出し、その。 に事単価は、現場院 図書作成一式の作成 の納まり、取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提奨 を行い、監督職員の指 を行い、監督職員の指 を行い、監督職員の指	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において購負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内R書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 R群を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援、協力を行う。※変更申請図面,計算書類 部の調整または工法の関係で、材料、寸法、取付位置、取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 (コスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器、材料等の搬入 伴う補強、養生、復作業、材料等旧,片付け等は、受注者の責	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理3 山留めの撤去	※ 設ける(規模, 仕様は次による)
 3 発生材の処理 5 会生材の処理 6 会社 7 材料の品質等 8 会社 9 会社 1 会社 2 会社 2 会社 3 会社 4 会社 5 会社 6 会社 	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの(作業材料等	得られたものになって。 b. 発注者の要望、指示に c. 設計変更により工宗に、設計変更により工宗に、 施発注者の要望、指示に 海等を含まにおける。 書等を含まにおける。 自然計変を表する。 f. 設計変は、部位相な変し、 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が表す。 が、工事契約の要数のの及び。 任において行う。 工事用機器、材料等のは、 で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽減額を明示した均 員に提出し、そのが 正事単価は、現場防 図書作成一式の作成の納まり,取り合し 更は、監督職員の指 受注者によるVE提昇 を行い、監督職員の を発行し、監督職員の を発表したが、 を発表したが、 を発表したが、 を表するが、 をまるが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において請負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内駅書等の資料(図面, 計算書類, 材料製造所発行の見積 係路を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援, 協力を行う。※ 変更申請図面, 計算書類 部の調整または工法の関係で、材料, 寸法, 取付位置, 取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 に(コスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器, 材料等の搬入 伴う補強,養生,復作業, 材料等旧, 片付け等は、受注者の責	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理3 山留めの撤去	※ 設ける(規模, 仕様は次による)
 6)発生材の処理 7)材料の品質等 4 5 6 7 6 7 7 8 8 9 9 1 2 2 4 5 6 7 	3 工事期間中の進入路、仮設に留意し、かつ部外者、通行人、近隣等への安全確保は受注者にて 万全を期すこと 9 その他 工事が原因による近隣への損害等の補償については監督職員と十分協議の上、受注 者の責任において処理のこと ・引き渡しを要するもの(作業材料等	得られたものになって。 b. 発注者の要望,指示に c. 設計変更により工事。 d. 発注者の事理。指示に 施工に着手す。を監督職 e. 増減内訳書における。 単価を採用する。 f. 設計変更に発ける。 単価を要更に対ける。 が表等の軽微なない。 h. 工事契約図書への反び。 任において行う。 工事機器、材料等の は、受注者の責任にて a. 監督職員の指示は、	よって生じた設計 エ期の延長が生じる よって生じた設計 曽減額を明示した増 員に提出し、そのが 正事単価は、現場防 図書作成り、取りらし の納まり、取りの作し のがは、監督職員の指 受注者に、監督職員の からの整備、それに 搬入に必要な搬入に 搬入に必要な搬入に を登職員の押印の都	変更に係わる工事は、監督職員の指示によって行う。場合は、発注者を含めて協議する。 変更において購負金額の変更を伴う場合は、そのつど、施 減内R書等の資料(図面,計算書類,材料製造所発行の見積 R群を受ける。 明書に定めのある場合を除き、工事請負契約締結時の工事 支援、協力を行う。※変更申請図面,計算書類 部の調整または工法の関係で、材料、寸法、取付位置、取 示によって行う。この場合は、請負金額の増減及び工事工 (コスト削減提案)等を採用する場合は、受注者にて工 確認を受ける。9工事に付帯する工事用機器、材料等の搬入 伴う補強、養生、復作業、材料等旧,片付け等は、受注者の責	④監督員事務所①埋戻し及び盛土②建設発生土の処理3 山留めの撤去	※ 設ける(規模、仕様は次による) 材料及び工法 ・ A種 ・ D種 ・ 企種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G

4 ① 砂利及び砂地業	材 料 (4.6.2) 砂利 ※再生クラッシャラン G ・切込砂利又は切込砕石 砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂	5 混和材料	- 構造特記参照 - 混和剤 (6.3.1)(6.3.2) 湿和剤の種類	10 入熱、パス間温度 の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示 ・構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による 適用箇所
地 業 エ _{2 捨コンクリート} 事	厚 さ ・60mm ・ () mm (4.6.3) 適用箇所 ・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・図示 捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ・50mm ・ () mm (6.14.1) ・基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示()	⑥ ひび割れ誘発目地、打継目地⑦ コンクリートの仕上り	- 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.8.3)(表6.2.4)	① 錆止め塗装	・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 塗料の種別 (7.8.3)(18.3.2 ・鉄鋼面の鯖止め塗料 特記なき場合、グレーとする 屋外 ・ (標準仕様書 18.3.2 表18.3.1 A種 ・ (屋内 ・ (標準仕様書 18.3.2 表18.3.1 () 種
① 	鉄筋の種類等 ・構造特記参照 (5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備 考 ①SD295A 腰壁	⑧ 型枠	種 別 適用箇所 ○A種 図示による ・B種 図示による ・C種 せき板の材料 G 及び厚さ (6.8.2)	① 建方精度	・ () ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・標準仕様書 18.3.2 表18.3.2 () 種 ・ () ※(社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度基準] 付表[工事現場]による (7.10.2
筋 2 溶接金網 工 事	形状等 (5.2.2) 種 類 種類の配号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 股備機器基礎		○合板 ○ 12mm • 15mm)断熱材の兼用 (6.8.2)○行わない • 行うMCR工法用シート (6.8.2)・用いる	り ①シーリング	下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2~3)(表9.7.1 施工箇所 シーリング材の種類(配号) ②図示による
③ 鉄筋の継手	(**************************************		打増し範囲 - () ・図示 ○用いない ま 実施要領	k C	ジーリング面への仕上塗材仕上げ等
	・構造関係共通図(配筋標準図) 3.1(a)(2) による ・構造関係共通図(配筋標準図) 3.1(a)(3)による 継手位置図	① 鉄骨製作工場	□ 「 ○構造特記参照 鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) 材 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本 【	3 ① 長尺金属板葺屋	(13.2.2~3)(表 13.2.1) 施工箇所 長尺金属板の種類 厚さ(mm) 屋根葺形式 ② 屋根 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 ※0.4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
④ 鉄筋の定着長さ ⑤ 鉄筋のかぶり厚さ	●構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)による (5.3.4)・図示 構造図による)最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)		性能評価基準」に定める(R)グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は 同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する工場(標準仕様書 7.1.1 以外の適用範囲に限る)		・
及び間隔(溶接金網含む)	 ○構造関係共通図(配筋標準図)表4.1による ・図示 構造図による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・無し - 有り 適用箇所(最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 	②施工管理技術者 ③ 鋼材 ④ 高カボルト	 ○適用する (7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2) ・適用しない ○構造特記参照 種類等 (7.2.1)(表7.2.1) ボルトの区分 ①仕様、位置は構造図による (7.2.2) 	2 とい	雪止め ・ 設置する (施工箇所 ・ 図示 ・) (13.2.3 といの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 表面処理鋼板 (13.5.2)(表 13.5.1 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP ・ VP) ・ アルミ製 ・ カラーガルバリウム鋼板製 防露材のホルムアルデヒド放散量 (13.5.2
⑥各部配筋		⑤ 普通ボルト6 溶融亜鉛めっき 高カボルト	ポルト及びナットの材料 ①仕様、位置は構造図による (7.2.3) セットの種類 ①仕様、位置は構造図による (7.2.2)(7.12.4)		※規制対象外 ・第三種 鋼管製といの防露巻き ※行う (施工箇所 ※標準仕様書表13.5.4 による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
容積質量による	立普通コンクリートの設計基準強度 構造特記参照 (6.2.1~4)(表6.2.2) 設計基準強度(N/mm²) スランプ 適用箇所 ②21 18 構造体は構造図による		適 用 ①仕様、位置は構造図による (7.2.4)(7.10.3) モルタルの種別 ①構造図による (7.2.9) ※無収縮モルタル ・ ()		・ ろく屋根用 (・縦型 ・横型) 鋳鉄 図示 ・パルコニー用 鋳鉄 図示 ・パルコニー中継用 鋳鉄 図示
ン ② コンケリー め類別 ク リ ③ セメント	類 別 ・構造特配参照 (6.2.1)(表6.2.1 ※ I 類 種 類 ・構造特配参照 (6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1 ①普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位(コンクリート番号 1.2) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。		無収縮モルタルの材料、調合等 (7.2.9) 材料、調合等 (7.2.9) 材料、調合等 · 標準仕様書 7.2.9による · () 品質及び試験方法 · 標準仕様書 表7.2.5による · () 工法の種別 (7.10.3) ※標準仕様書 表7.10.2(※A種 [モルタル厚さ50] ・B種 [モルタル厚さ30]) による		
工 ④ 骨材	・構造特配参照 アルカリシリカ反応性による区分 ※A · B · 再生骨材H (6.3.1) 本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。	⑨ 溶接接合	(7.3.10) 開先の形状 ・図示 ・(精造関係共通図(鉄骨標準図)1-2による ・(
			スカラップの形状 ・図示 ・ (オ.6.7) ・図示 ・ (精造関係共通図(鉄骨標準図)1-4による ・ () エンドタブの切除する部分及び仕上げ (7.6.7) ・見え掛り部となる部分 ・ () ・図示 ・見え隠れ部となる部分 ・ () ・図示 ・見え隠れ部となる部分 ・ () ・図示 ・ (社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表3[溶接]による ・ ()		令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事 図 名 特記仕様書(建築工事編)(2) No. 298 2025. 05. 23

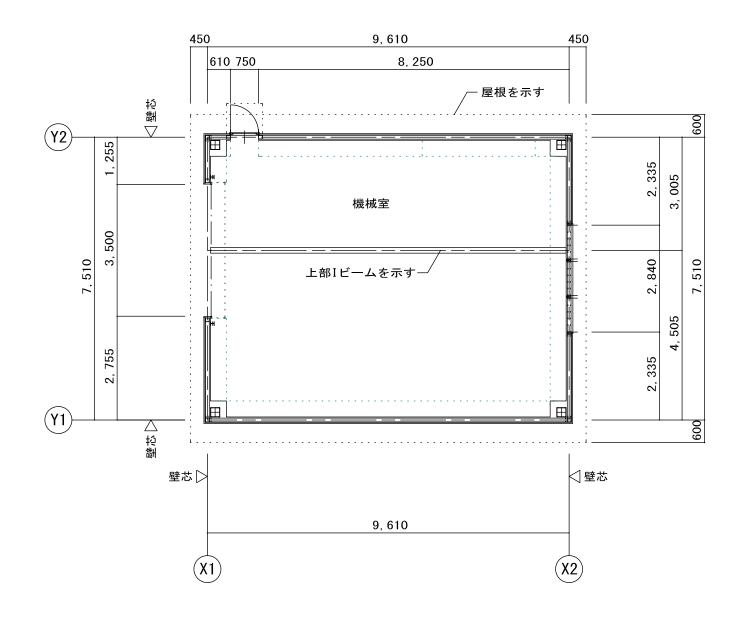
14 (1) ステンレスの表	5H b (1.4.2	1) 18 ①材料	屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量	22 1 路 床 路床の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による (22,2,2)
	ロロエー (14.2. 種別 施工箇所		産内で使用するユリア倒脂等を用いた塗料のホルムアルアと下放散量 ※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による	A
金	⊗HL程度 シャッター額縁	塗	・防火材料 (18.1.3)	
 属	・鏡面仕上 程度 - No. 2B 程度			・フィルター層 ※砂 厚さは図示による
偶	- No. 2B 程度	装 ② 素地ごしらえ	(18.2.2~7)	工 単位面積質量 60g/m 以上 事 路床安定処理 ・行う (22.2.2~3)(表22.2.1)
工 2 アルミニウ	ム及び (14.2.2)(表14.2	-	下地面等 種 別	※添加材料による安定処理
アルミニウ	ム合金 種 別 色合い 施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	7_1	木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種	種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
事の表面処理		_ 事	透明塗料塗りの場合 - A種 ※B種	· 生石灰(
	• BB-1種 ・標準色 • BB-2種 ・特注色	+	鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種	添加量 kg/m (目標 CBR ※ 3 以上) ・ジオテキスタイル
	• AC-1種	-	モルタル面及びプラスター面 ・ A種 ※B種	単位面積質量 60g/m 以上
	• AC-2種		コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・A種 ※B種	厚さ (mm) 0.5~1.0
	陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 三次電解着色		コンクリート面 (DP) 及びALCパネル面 ・ A種 ・ B種 総目処理工法の場合 ※ A種 ・ B種	引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10 cm/sec 以上
3 鉄鋼の亜鉛	・ めっき	2)	せっこうボード面及びその他ボード面 継目処理工法以外 ・ A種 ※B種	225小条数 1.5×10 cm/sec 以上
0 或人到阿0万里至	表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外)		唯日だ生工以外	盛土に用いる材料 (22.2.3)(表3.2.1)
	・溶融亜鉛めっき・A種	③ 錆止め塗料塗り		・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土
	• B種	_	鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外 ※ A種 鉛・クロムフリー錆止めペイント 1 種	
	・電気亜鉛めっき ・D種	\dashv	EP-G ※B種 亜鉛めっき鋼面鯖止め塗料 EP-G以外 ※B種	試験 砂の粒度試験 ※行う ・行わない (22.2.5)
	・ E種	\dashv	EP-G ※C種	路床土の支持力比(CBR)試験 ※行う 行わない
	· F種			路床の締固め度の試験 ※行う 行わない
	_	4 塗装	- 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)(18.4)	現場CBR試験 ※行う 行わない
(4) 軽量鉄骨天	井下地 野縁等の種類 屋 外 ・19形 (※325形 (14.4.2)(表14.4 屋 内 ※19形 25形	1)	・ クリアラッカー塗り (CL) (18.5)・ アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り (NAD) (18.6)	2 路 磐 厚 さ・() ・図示 (2 2, 3, 2 ~ 3) 俵 2 2, 3, 1)
	産 内 ※19形 ・25形 ・25形 (1 4 . 4 . 3 ~	4)	- アグリル側脂ボ非小ガ散ボ空科空り (NAD) - 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級 ()級 (18.7)	
	耐風圧性を考慮した補強 ※図示 ()		コンクリート面及び押出成形セメント板面 工程の種別 - A種 · B種 · C種	・砕石(・クラッシャラン・粒度調整砕石)
	・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強箇所 ※図示 ()		・ つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) (18.8)	※再生材 G (・クラッシャラン ・粒度調整砕石)
	補強方法 ※図示 () ・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強簡所 ※図示 ()		 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) (18.9) ・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) (18.10) 	・クラッシャラン鉄鋼スラグ G ・
	- 天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強箇所 ※図示 () 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による [1 =	・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) (18.10)・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18.11)	・
	・天井のふところが3mを超える場合 補強箇所 ※図示 ()		・ オイルステイン塗り (OS) (・水性 ・油性) (18.12)	ハバスに北京の河を多り割り、フラー
	補強方法 ※図示 • ()		・ 木材保護塗料塗り (WP) (18.13)	3 アスファルト舗装 構成及び厚さ ・ () ・図示 (22.4.2~3)
15 0 - 11 5 11 25	1 - 1 - 1 O TELEBRO ALLAN ETTER ALLAN () (1 - 0		・ 水性系木材塗料(OSCL)	材料
15 ① モルタル塗	リ	·	材質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色 ・)	アスファルト ・再生アスファルト (・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 骨 材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G
左	床の目地 設ける (工法 ※押し目地) (15.3.		仕上種別 コーテイング (ローラー刷毛塗り)	第一物 水温超加新日 アハンアルドコンプリードラエ目物 [G]
	目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度) ・ ()		塗布量 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする	加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4) 俵 22.4.4)
官	下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験・行う			区分※一般地域 寒冷地域
_ 2	均し 下表以外は表6.2.5及び15.4.2による (表 6.2.5)(1 5.4.	3)		表 層 ※密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13)
仕上げ	施工箇所 平たんさ(mm) 備 考	19 ①接着剤	 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量	基 層 粗粒度アスファルト混合物(20)
事	・フリーアクセスフロア(支柱調整式)範囲 ・1m につき 10 以下		※「1(各章共通事項) 7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による	シールコート用の乳剤の種別 • PK-1 • PK-2 (2 2 . 4 . 3)
	○ 図示	_ 内		アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない (22.4.6)
		 装 ② せっこうボード、	(19.7.2)(表19.7.1)	(4)コンクリート舗装 構成及び厚さ ・ () (22.5.2)
3 セルフレヘ゛リンク	材塗り・せっこう系 (15.5.2)(表15.5		種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等	寒冷地の縁部立下り寸法等() 図示
	・セメント系	工 び合板張り	・硬質木毛セメント板 G HW 15 20 25	早強ポルトランドセメント ・使用する (22.5.3)
		事	・中質木毛セメント板 G MW 15 20 25 -	注入目地材料 ※低弾性タイプ 高弾性タイプ
		⊣ ₱	普通木毛セメント板 G NW 15 - 20 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 25 - 2	
16 1 防火戸	・ ()・図示 (16.1.	3)	・普通木片セメント板 G NF -30	舗装の種類 区分
 _Z			- けい酸カルシウム板 0.8 FK タイプ2 (無石綿) - 6 - 8	※加熱系アスファルト混合物 ・車道 及び駐車場
建 2 見本の製作	等 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.	4)	1.0 FK	石油樹脂系混合物 步行者用通路
具	建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの		・ロックウール化粧吸音板 DR ※7ラットタイプ(※9(不燃)・12(不燃)・) (不燃) (不燃)	・常温系二一ト工法 ・車路及び歩行者用通路 ・車路及び歩行者用通路
	特殊な建具の仮組・行う(建具符号:) (16.1.	4)	- ロックウール吸音ボード1号 RW-B 凹凸947 (※ 12 (不燃) 15)	加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 (22.6.3)
エ			・ グ ラスウール吸音ボード32 K GW-B ※25 (ガラスクロス包) ・	配 合 (22.6.4)
3 防犯建物部	品 - 適用する (16.1.	6)	○せっこうボード GB-R 図12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・9.5 ・不断辞歴サップラギード GB-R ○ 10.5 (不燃) ・2.5 (不燃) ・3.5 (不燃)	加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量()
ず (4) アルミニウム製麺	具 性能値等 (16.2.2)(表 16.2	1	・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)	
	(16.2.2) (数 16.2 ・ 外部に面する建具の性能等級 ・ A種 (S-4、A-3、W-4) (建具符号:		・シージングせっこうボード GB-S 9.5 (不燃 ・準不燃)	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	・B種 (S-5、A-3、W-4) (建具符号:		・強化せっこうボード GB-F -12.5 (不燃) -15 (不燃) 021 (不燃)	6 透水性 構成及び厚さ・()・図示 (22.7.2)
	①C種 (S−6、A−4、W−5) (建具符号:全て)	・せっこうラスボード GB-L 9.5	アスファルト舗装 舗装材料 (22.7.3)
	・屋内の建具の性能等級 () 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (T-2) (建具符号:全て		・化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 (W) 模様 (※柾目 ・板目) 専用下地材有り	車道部 ※改質アスファルト I 型 ・() 歩道部 ※ストレートアスファルト ・()
	断熱ドアセット・断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 (H-1) (建具符号:全て)	- 化粧せっこうボード(トラバーチン模様)GB-D(T) 9.5 (準不燃)・9.5(不燃)	開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない (22.7.6)
	耐震ドアセット 適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号:		・普通合板 G ・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度)	
	枠の見込み寸法 ・ () ・図示		◆振翔 雑雑振みびパーテックルボードのナル / フルギレドササー	⑨ 砂利敷き 種 別 · A種(施工範囲: 図示 通路 ·) (2 2 9 2)
	表面処理 (16.2. 外部に面する建具 ※BB-1種 BB-2種 (・標準色 ・特注色)	41	合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※「1(各章共通事項).7(室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策)」による	○B種(施工範囲:○図示 建物周囲)
			合板類の張付け	10 路面表示用塗料 (JIS K 5665 (路面表示用塗料) による)
	結露水の処理方法・() ・図示		せっこうボードの目地工法 継目処理工法 突付け工法 目透し工法	種 類 施 エ 適 用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率
	水切り板、ぜん板 ・ () ○図示 (16.2.	5)		1種 G 常温 液状 ※白 150 ※1.0 塗料総質量に対して
5 網戸等		3)		· 2種 G 加熱
	種 類 材 質 線 径 網 目	- /		「
	・防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ	\neg		
	- ガラス繊維入り合成樹脂製			
	・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法 15mm	 		
	防馬網 A720A (SUS304) 線材 1.5mm 網目寸法 15mm 建具表及び建具特記による	 		
				図番
⑥ 軽量シャッ		1)		令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事
	耐風圧強度 () N/㎡ スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 (16.12.3~			図名 意匠
	スフット 形状 インターロッキンク形 オーハーフッピンク形 (16.12.3~ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06	' 1,		特配仕様書 (建築工事編) (3) No. O 4
	- JIS G 3322 (塗装溶融55%7ルミ=ウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A	290)		298 2025. 05. 23

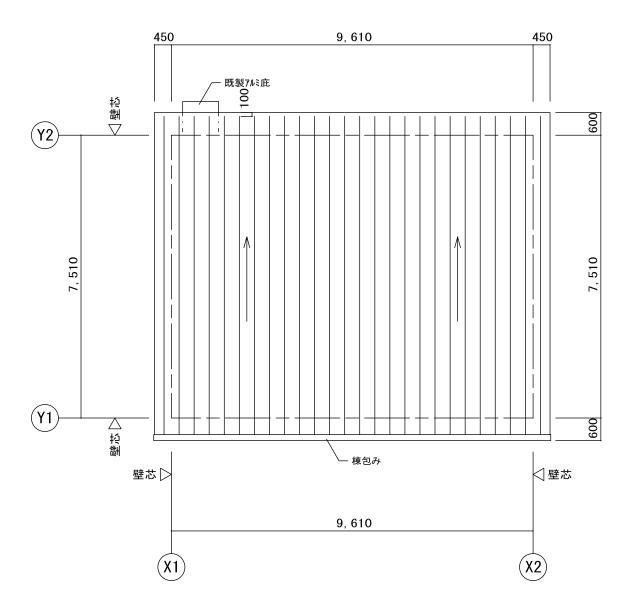


仕上及び仕様表

エエ及いし	工及5位1942										
部位	図中の凡例	仕上名称	製造所	品種•規格•寸法							
屋根	CGL鋼板	カラーガルバリウム鋼板	5 一 ガルバリウム鋼板 (株)淀川製鋼所 3 ド Hyper GL カ ラ ー t 0.4 同等品 ゴムアスファルトルーフィング+耐火野地板t 18.0 ゚								
				各役物:屋根同材 付属金物一式							
外壁		窯業系サイディング	ニチハ(株)	イルミオ EDM505E t16 横貼 同等品透湿防水シート PBt12.5下地							
軒天		パルプ繊維混入セメント板	ニチハ(株)	木目調 YL-141P t12 同等品							
その他	GLC鋼板	カラーガルバリウム鋼板	(株)淀川製鋼所	鋼板: カラーガルバリウム鋼板 ヨドHyperGLカラー t0.4同等品							
		既製アルミ庇	(株) ツヅキ	Fシリーズ樋無し サポート無D= 900 L=1000 同等品							



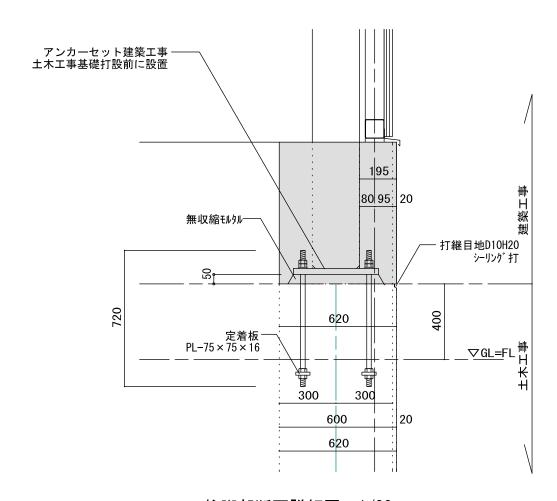




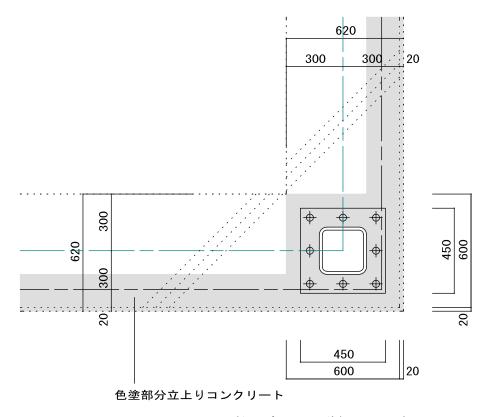
平面図(GL+2000)

屋根伏図

令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事		仕上表・平面図	意匠
No.					06
298	2025 - 05 - 23		Scale	1/100	

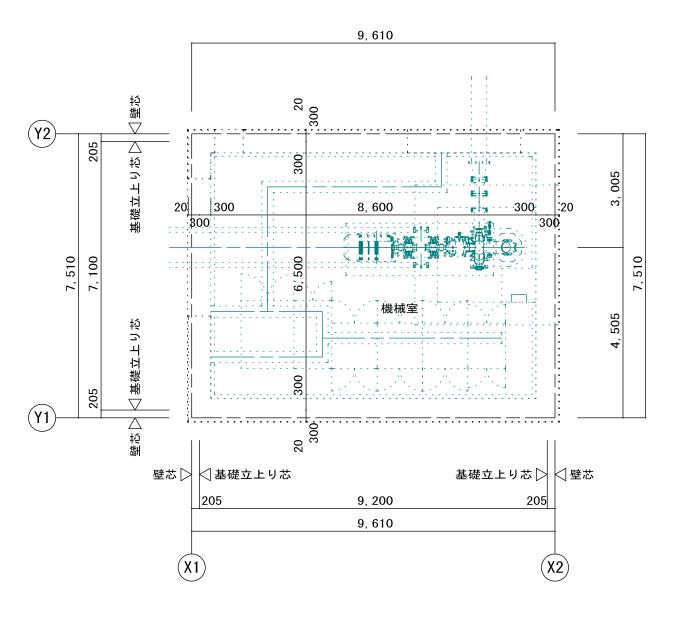


柱脚部断面詳細図 1/20



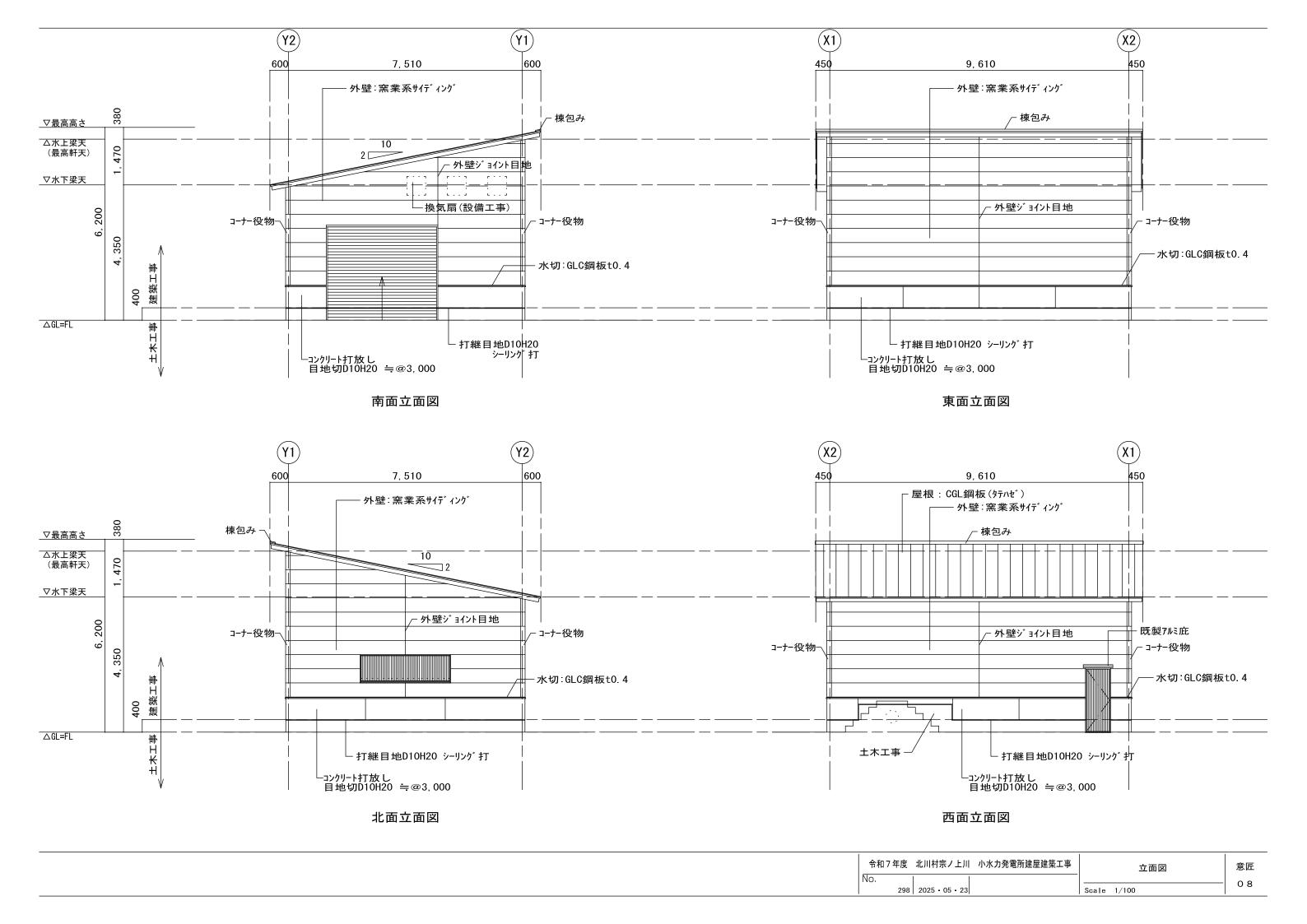
柱脚部平面詳細図 1/20

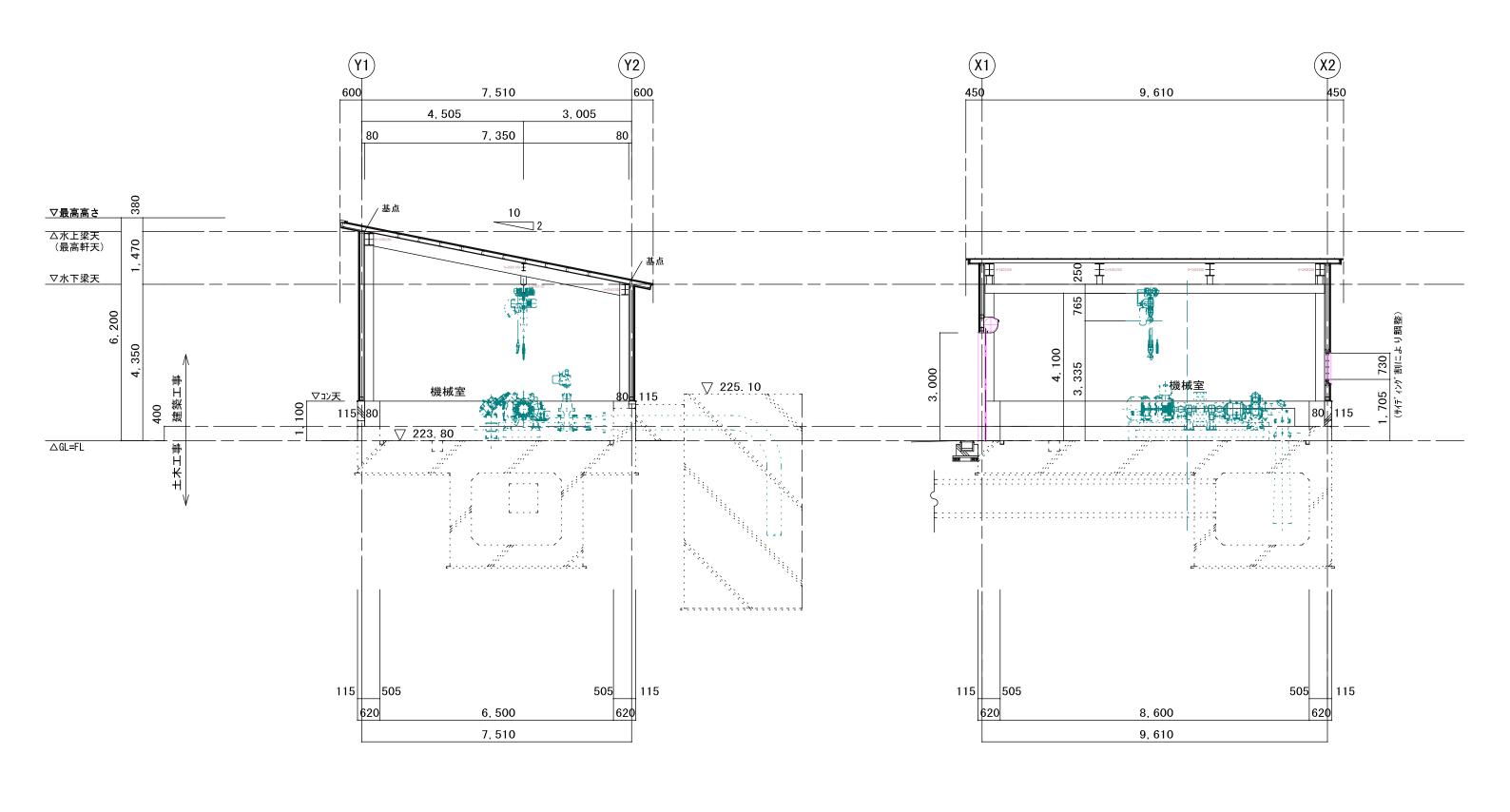




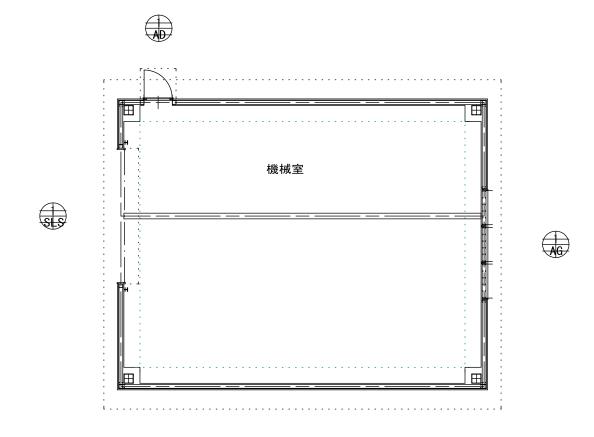
平面図(上段GL±0)

令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事		雑詳細図•平面図	意匠
No.					0.7
298	2025 - 05 - 23		Scale	1/20 • 1/100	0 /

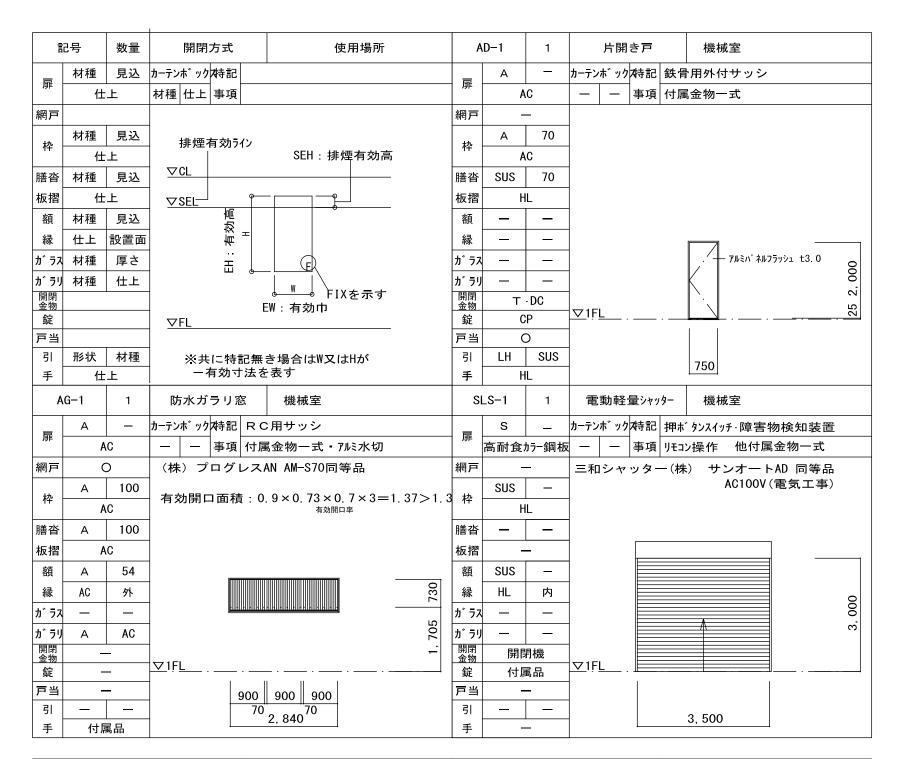




令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事	断面図	意匠
No.				0.0
298	2025 - 05 - 23		Scale 1/100	0 9



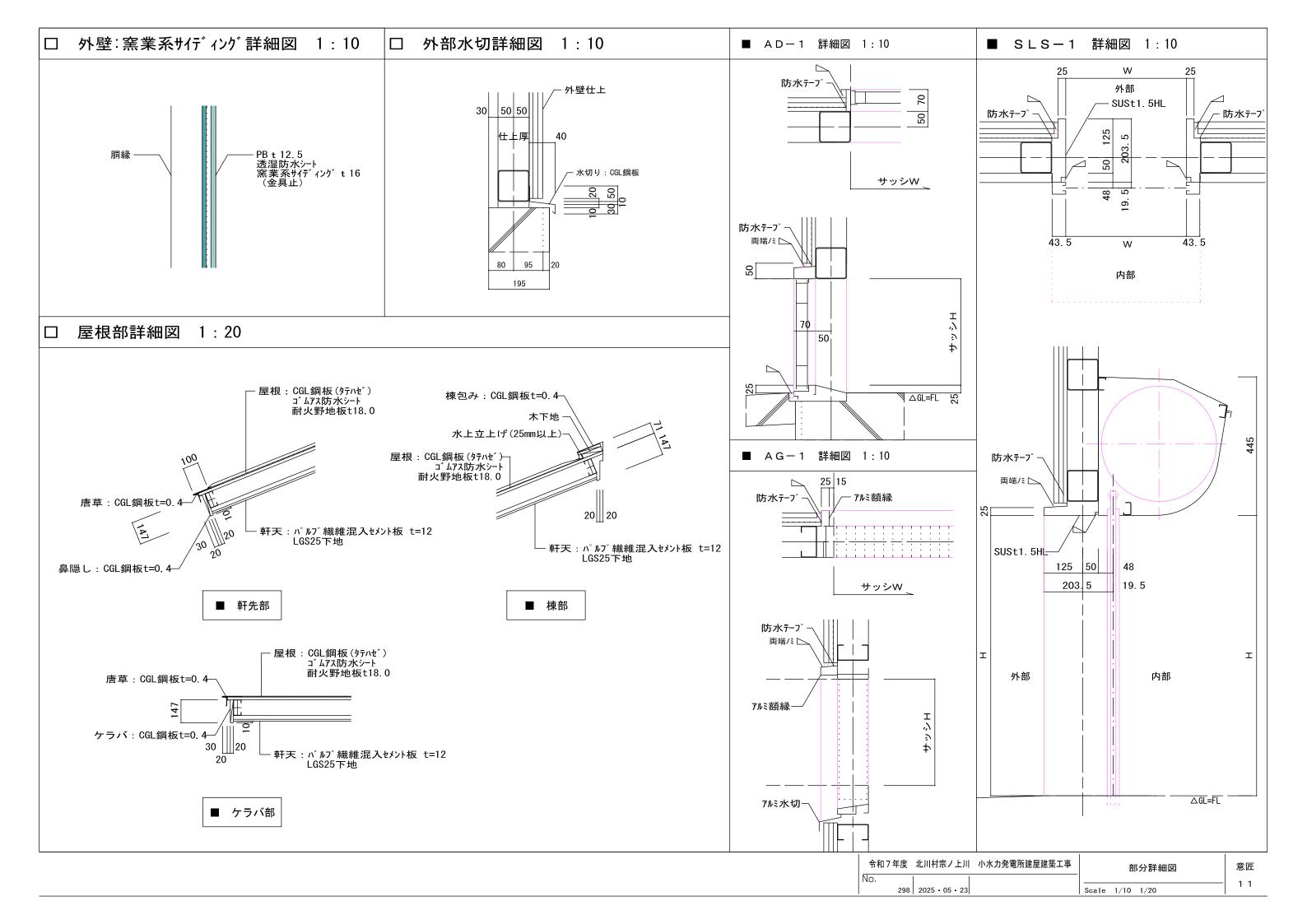
建具記号図

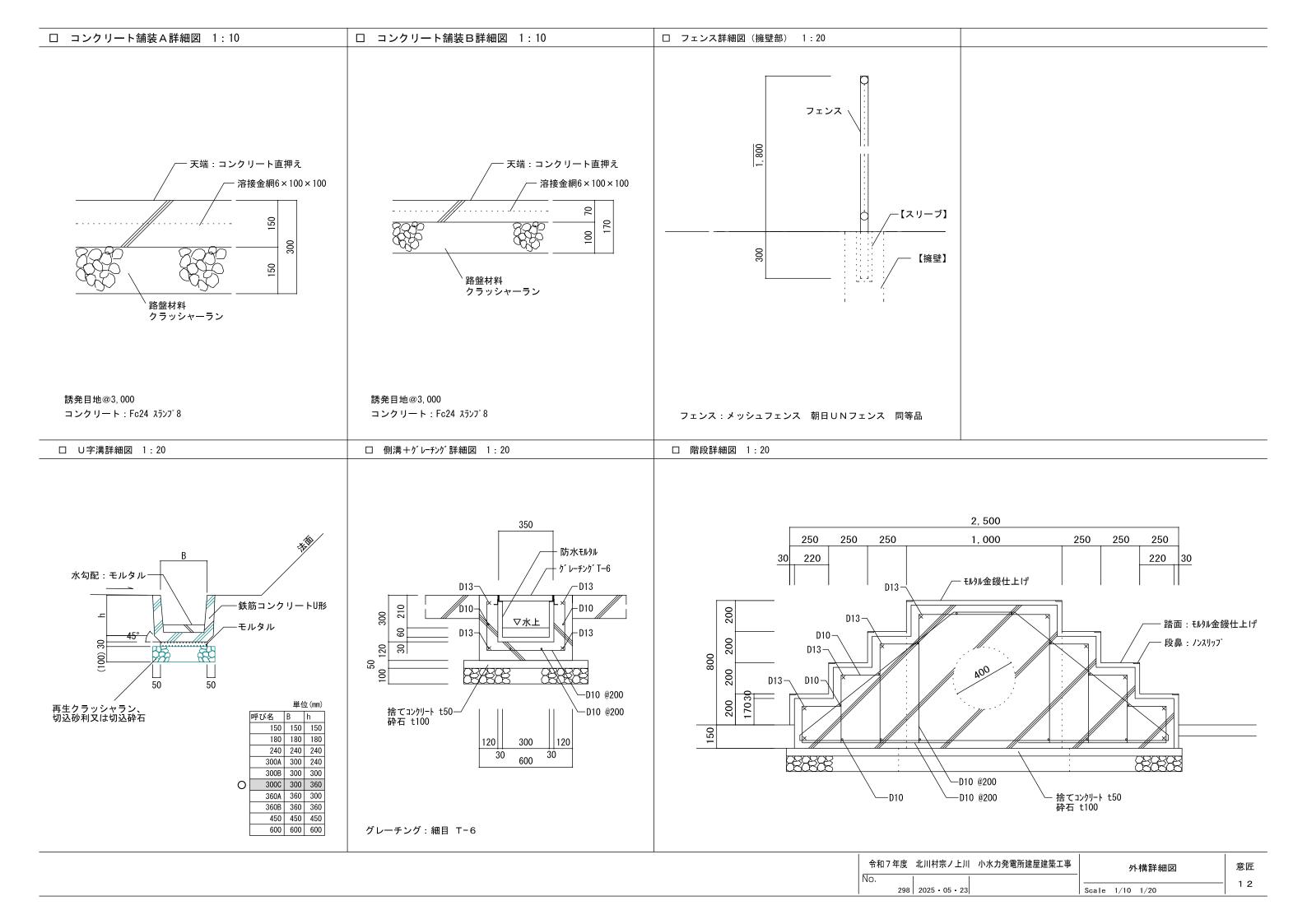


建具の	 種類と記 号	建具の仕上と記号			種類と記号	鍵の種類と記 号	
AD	アルミ製ドア	AC	二次電解着色	Α	アルミニウム	С	空錠
AG	アルミ製ガラリ	HL	ヘアライン	S	スチール	CP	シリンダー箱錠
SLS	スチール製軽量シャッター			SUS	ステンレス		
開閉金	物の種類と記号	引手金:					
T	丁番 (SUS製)	LH	レバーハンドル(SUS製)				
DC	ドアクローザー						

- ・シャッターの軸受プレートはシャッター工事に含む。
- シリンダー錠はピッキング対応品とする。
- ・外部のシリンダー錠は一つの扉につき2ヶ所設置とする。

令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事	建具表	意匠
No.				1.0
298	2025 - 05 - 23		Scale 1/100	1 0





鉄骨特記仕様

○ 特記無き限り構造詳細は、下記によるものとする。本工事に関係なき項目は、適用しない。

1 鉄骨業者

○ 大臣認定「 R 」グレード以上の業者。

2 使用材料

0	鋼	材	主架構材	柱	BOR295	通しダイアフラム		NDコア
				大梁 一	S\$400	内ダイアフラム	. —	
				小梁 —	S\$400	柱ベースプレート		SN400B
				間柱 —	S\$400	間柱ベースプレー	- -	
			母屋、胴縁		SSC400	一般鋼板		SS400
			デッキプレー	- ト	_			
0	高力	ボルト	トルシア形	高力ボルト	第2 種 S10T	[JIS形高力ボルト	(F10 校も可)]
0	中	ボルト	JIS B1180	0-1181	中3 級			
0	アンカ-	ーボルト	アンカーボル	レト 柱 -	— ARR4NN (фя	浩えジ) ダブルナット締	めとする	

高強度無収縮性モルタル

3 溶接工作一般

○ ベースモルタル

- 工作標準、溶接記号及び開先等は、右図に示す。
- 溶接は原則として、工場溶接とする。現場溶接の生じる場合は「現場溶接要領書」を提出し、監督員の承諾を受ける事。

間柱― 88400 ダブルナット締めとする。

4 継手部一般

- 柱、梁材の継手は高力ボルト摩擦接合とする。
- 継手位置における鋼材間のクリアランスは最大 10 mmとする。
- 高力ボルト及び中ボルトのピッチ等は下記による。

ボルト	軸 径	M 1 2	M16	M 2 0	M 2 2
ボルト用	孔径	14.0	18.0	22. 0	24.0
ボルト	ピッチ	50	60	60	60
最 小	はしあき	3 0	4 0	4 0	4 0
縁端距離	へりあき	20	2 2	2 6	28

○ 継手接合部摩擦面は、浮錆、黒皮、塗装等の摩擦力を低減さすものは完全に除去する事。

5 防錆塗料

- 材料 JIS K5674 (鉛・クロムフリーさび止めペイント) 第1種 塗付膜厚1回 35 μ以上
- 継手部、現場溶接部(コンクリートに接する部分)を除き、工場二回塗り、現場補修とする。
- 鉄面の素地ごしらえは「建築工事共通仕様書」(最新版)による。

6 検査試験

〇 現寸検査 原則として行う。CADにて代行することも可。

〇 開先組立検査 立会い検査を行う。写真報告必要。

第3者による超音波探傷試験を、全数の20%以上について行う事。 〇 溶接試験

平均出検品質限界 (AOQL) は4%とする。 ○ ボルト締め付け試験 F10T高力ボルトを使用のとき行う。

7溶接接合

○ 溶接技能者

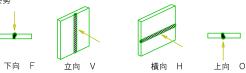
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801 (手溶接) 又はJIS Z3841 (半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする

- - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
 - (ロ) アークエアーガウジング機(直流)
 - (ハ) サプマージアーク溶接機1式
 - (二) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (へ) 溶接棒乾燥器

〇 溶接方法

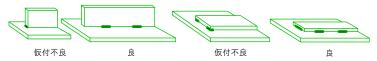
アーク手溶接	(MC)
ガスシールドアーク半自動溶接	(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接	(NGC)
アークエアーガウンジング	(AAG)

溶接姿勢

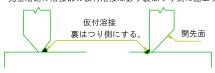


- 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 - (イ) 仮付付置

組立て溶接は、溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

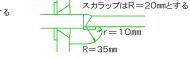


(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



溶接施工

- (イ) エンドタブ
- Ⅰ) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状の エンドタブを取り付ける
- Ⅱ)エンドタブの材質は、母材と同質とする
- **Ⅲ**) エンドタブの長さは、MC:35mm以上 NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後 母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- Ⅳ)プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又
- は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金 材質は母材と同質材料とする
- (ハ) スカラップ 改良型スカラップとする



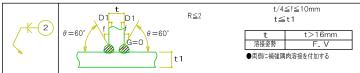
但し梁成がD=150mm未満の場合の

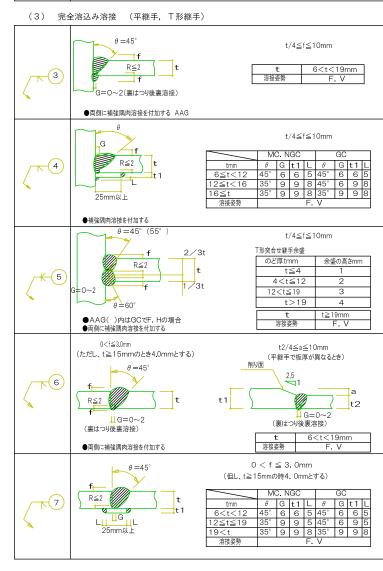
- (二) 裏はつり 規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を 励行し、部材に確認マークをつける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部 をいためない様に、養生を行なう
- 隅肉溶接は原則として、回し溶接を行う。
- パネルゾーン部がBCR295以上の材料を使うときに、内ダイアフラムに取りつく大梁端の突き合 せ溶接は、CO 半自動溶接で行うこと。

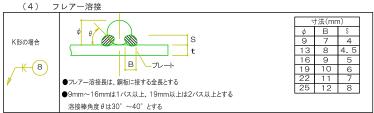
溶接規準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長

(1) 隅肉溶接 8~10 | 11~13 | 14~10 ●但し片面溶接の場合はS=tとする ●tはt1、t2の小なる方とする 金盛は(1+0 1S)mm以下とする ●軸力が加わる場合のSは母材と同厚 とすることが望ましい。

(2) 部分溶け込み溶接(使用箇所に注意)







令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事

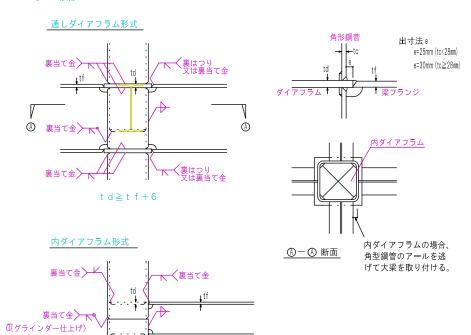
298 2025 - 05 - 23

構造 構造特記仕様(1) 0.1 Scale 1/

8 柱梁接合部

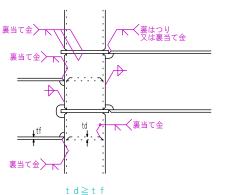
角形鋼管柱

〇 一般部



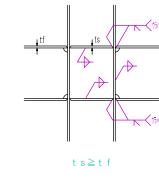
〇 左右の梁のレベルが異なる場合

t d≧t f

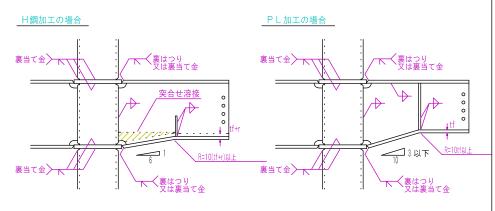


裏当て金

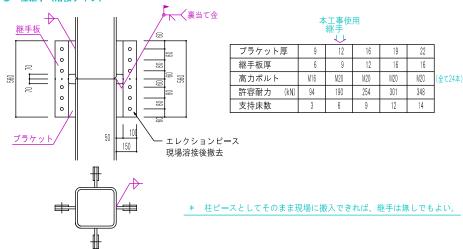
O 柱がH形鋼の場合



〇 梁ハンチ付の場合



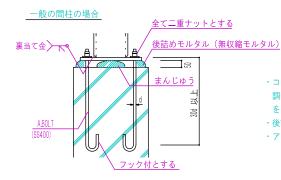
-○ 柱継手(溶接タイプ)



〇 柱脚

転造ネジの場合

裏当て金〉



全て二重ナットとする

ゴ露 まんじゅう

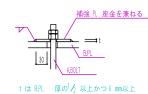
後詰めモルタル(無収縮モルタル)

アンカーフレームを組んで固定する。

定着板(既製品)

- ・コンクリート表面のレイタンス等を取り除いた後、 調合(容積比)セメント1:砂1の堅練りモルタル を平に塗り仕上げる。
- ・後詰めモルタルは空隙の出来ないように充填する。
- ・アンカーフレームを使用する場合は設計図書による。

アンカーボルトの施工に誤差がある場合



9 その他

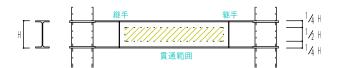
〇 梁貫通孔補強

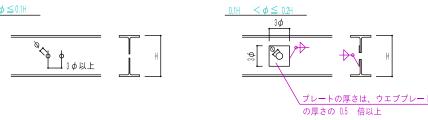
既製補強金物による場

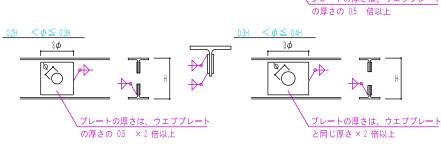
・補強範囲は、既製補強金物(ハイリング、フリードーナツ、OSリング等)の適用規定に従うものとする。

既製補強金物によらない場合

・特記無き限り補強方法は下図によるが、孔径(ϕ)は 0.44 以下とし、そのピッチは 3.0 ϕ 以上とする。 ・スリープは深成の中央 1/2 の範囲とする。

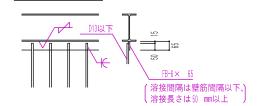




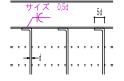


●●壁配筋の溶接

軽微なRC壁の場合

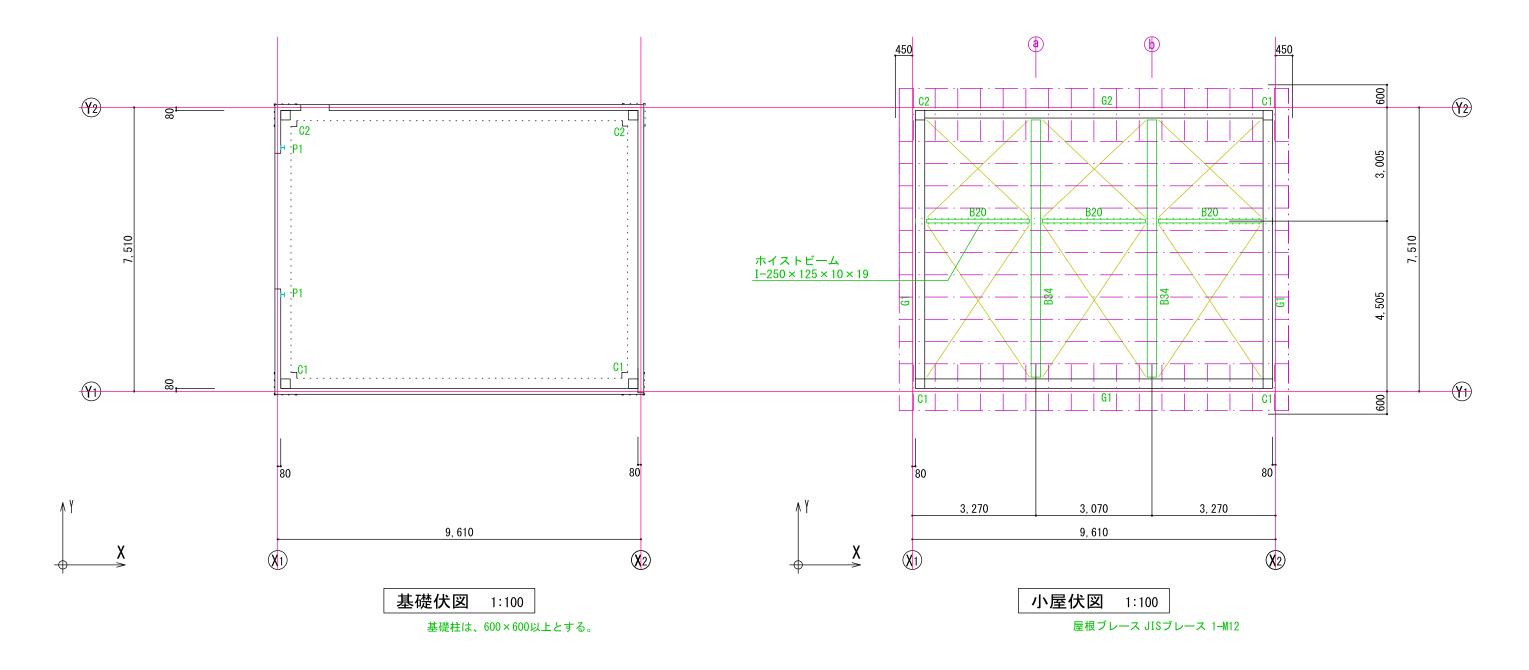


<u>コンクリートブロック壁の場合</u> サイズ 0.5d 5d



令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事 No. 298 2025・05・23

構造 O 2

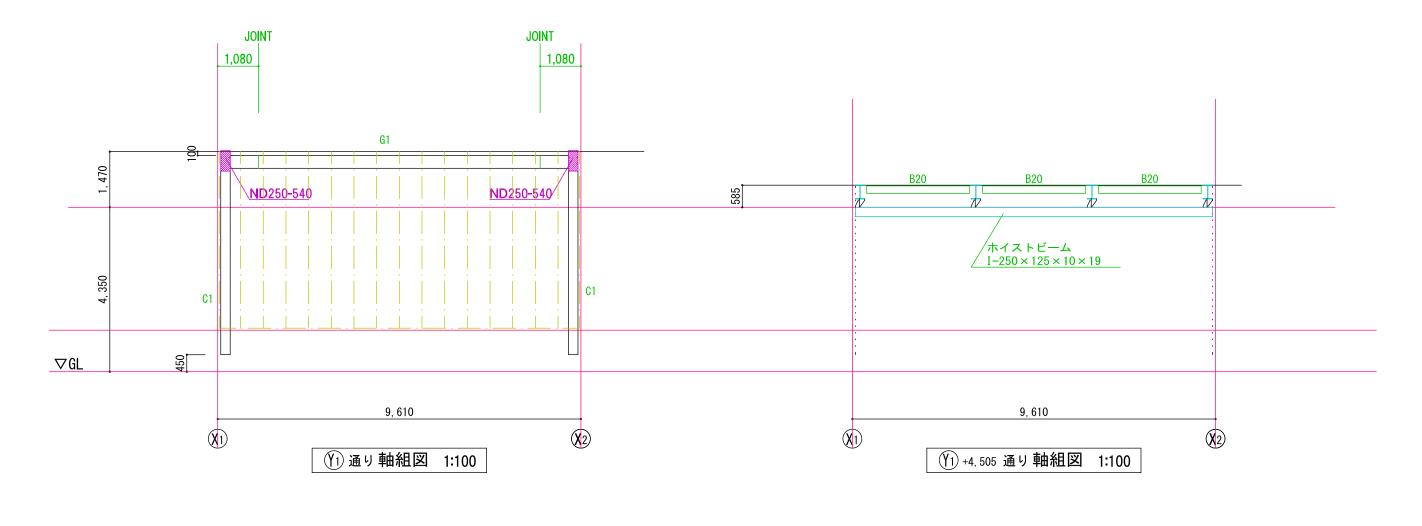


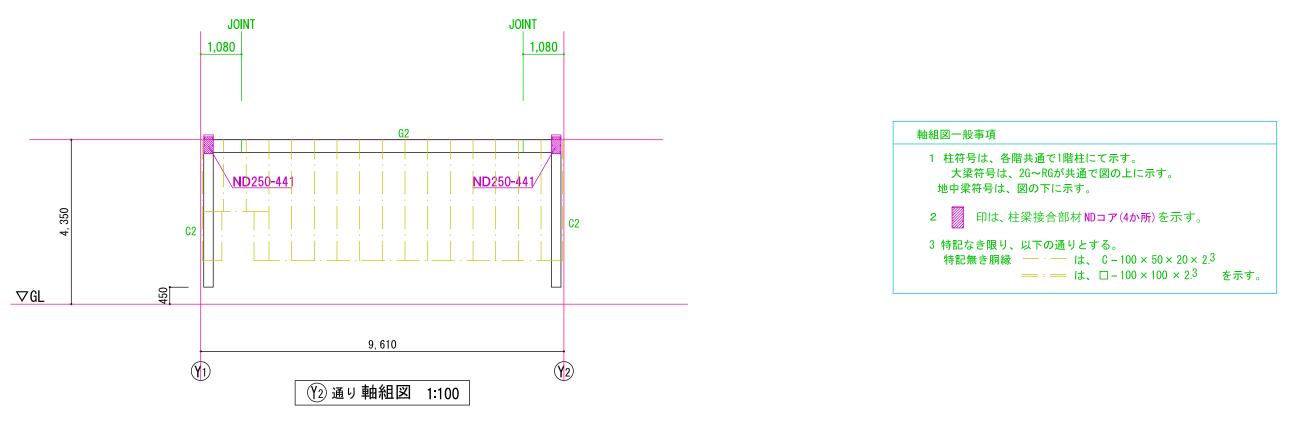
部材リスト

材名	使用鋼材	
C1	$\Box - 250 \times 250 \times 16$	(BCR295)
C2	$\Box - 250 \times 250 \times 12$	(BCR295)
P1	$H - 100 \times 100 \times 6 \times 8$	(\$\$400)
G1	H - 340 × 250 × 9 × 14	(SS400)
G2	H - 294 × 200 × 8 × 12	(SS400)
B34	$H - 340 \times 250 \times 9 \times 14$	(\$\$400)
B20	$H - 200 \times 100 \times 5.5 \times 8$	(\$\$400)

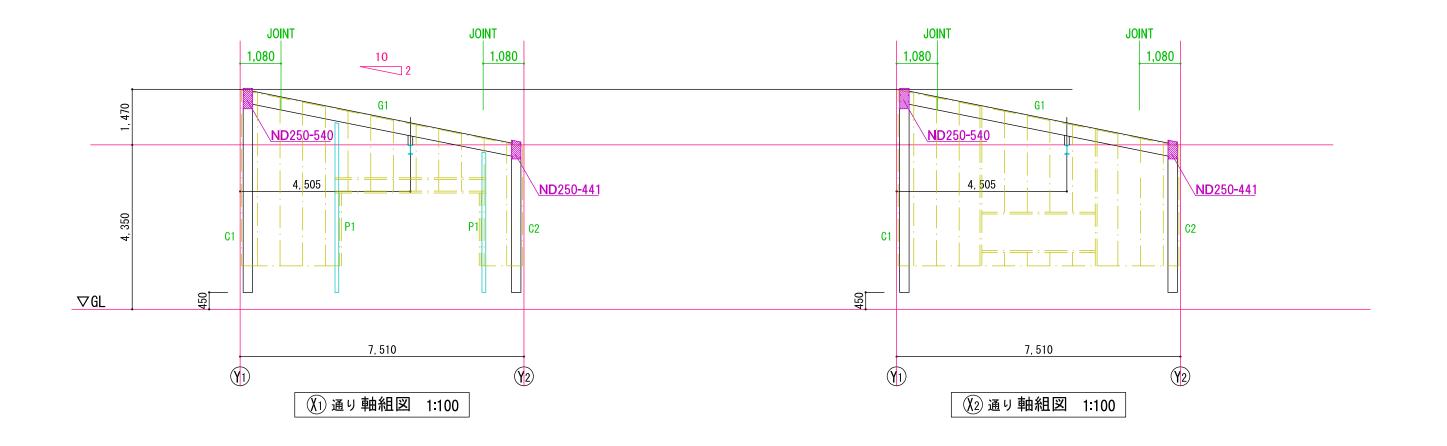
材名	使用鋼材
ホイストビーム	$I - 250 \times 125 \times 10 \times 19$ (SS400)
	$C - 100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ @ 600
母屋	ネコ L - 75× 75× 6 中ボルト 2-M12
00.43	$C - 100 \times 50 \times 20 \times 2.3$ @ 600
胴縁	ネコ L - 50 × 50 × 6 中ボルト 2-M12

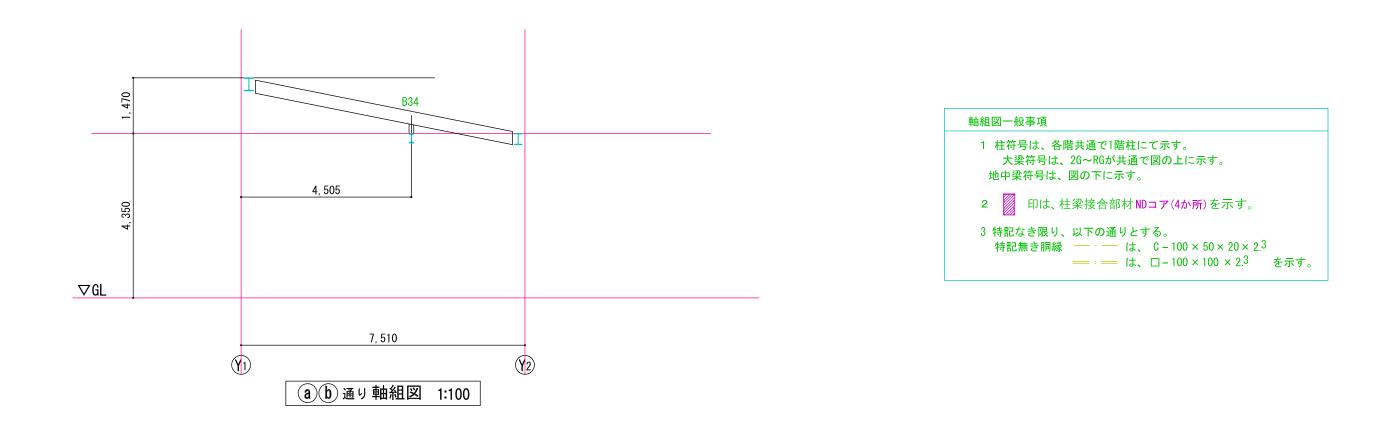
令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事		伏 図	構造
No. 298	2025 - 05 - 23		Scale	1/100	03





令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事		軸組図(1)
No.	1			
298	2025 - 05 - 23		Scale	1/100





令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事

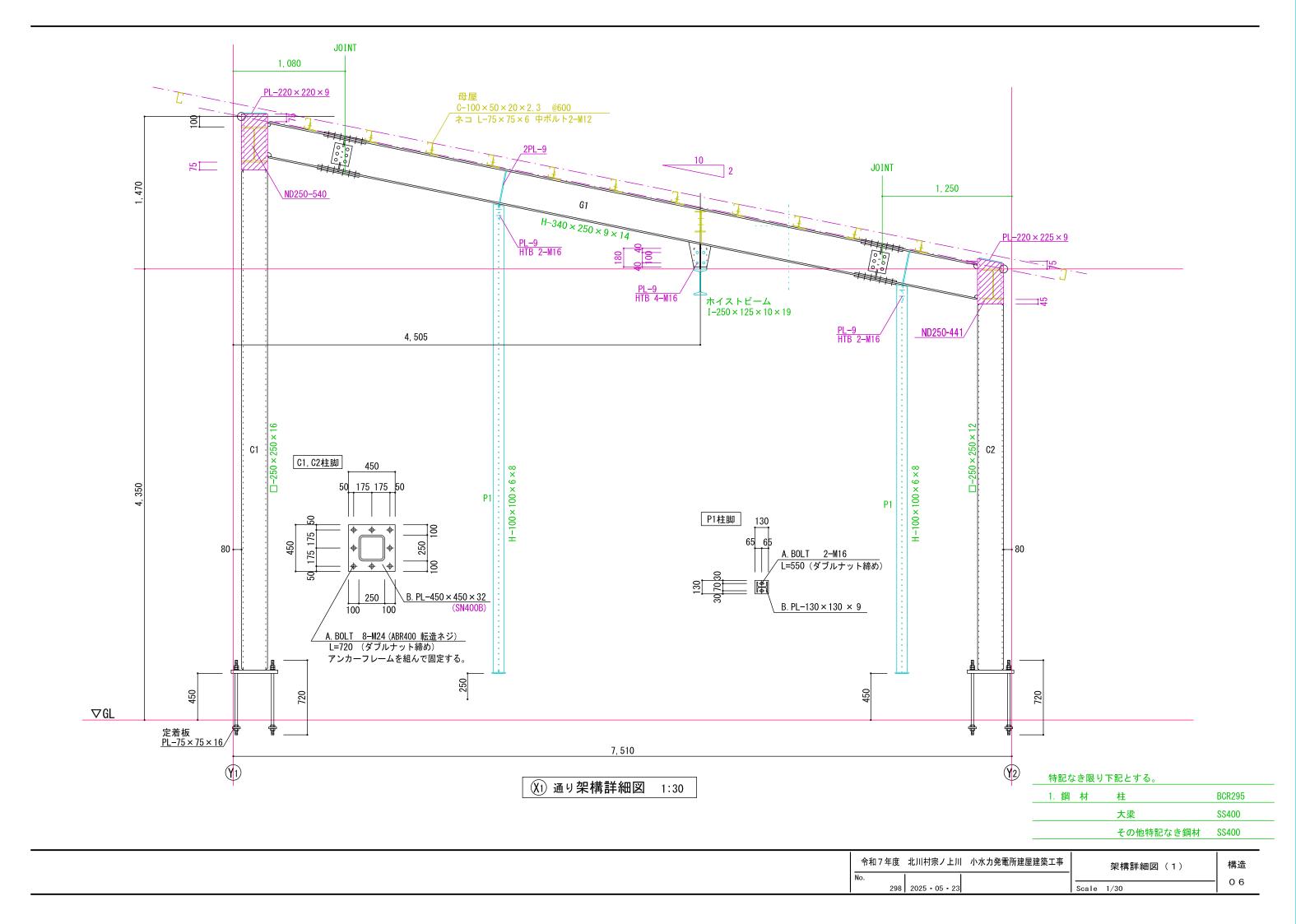
298 2025 - 05 - 23

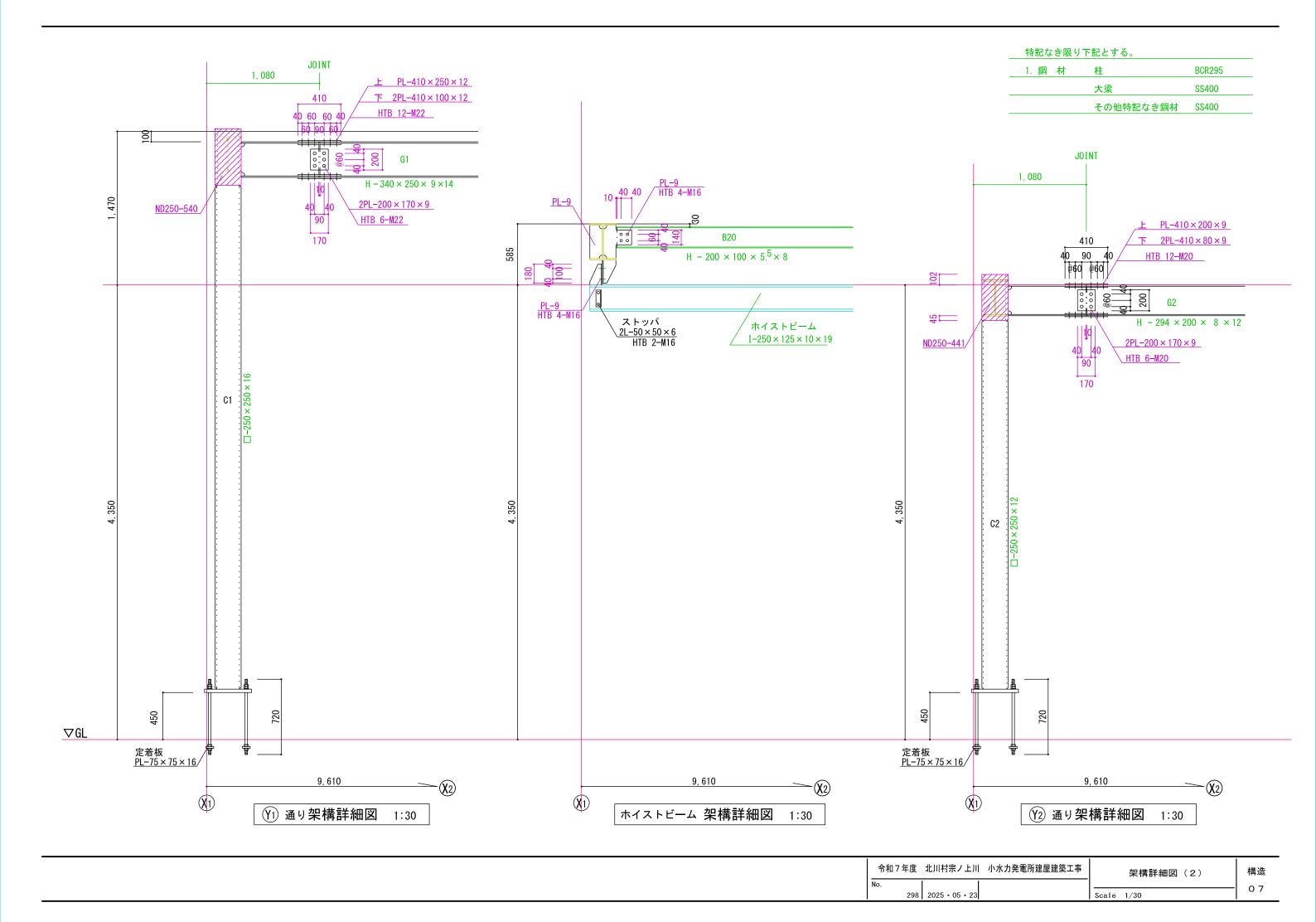
構造

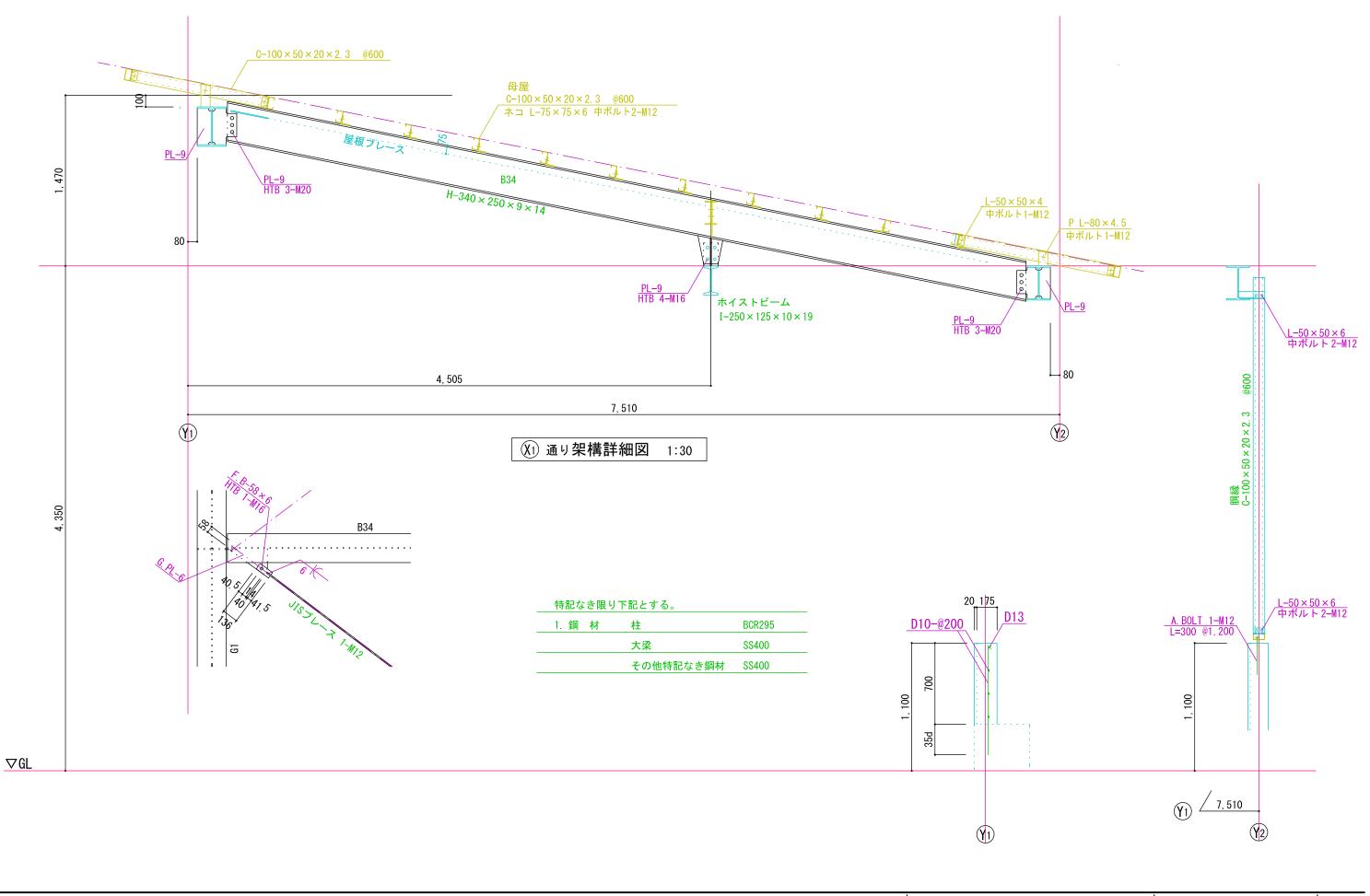
0 5

軸組図(2)

Scale 1/100







令和7年度	北川村宗ノ上川	小水力発電所建屋建築工事	雑詳細図	構造
No.		_		0.8
298	2025 - 05 - 23		Scale 1/30	

角形鋼管柱·H形鋼はり接合工法 NDコア設計·施工標準仕様書【基本仕様編】

|1. NDコア仕様

		部材	記号	•	·	長さ(mm)	設計記号 ※1	数量(個)	斜め切	断((勾配)	
□ND150	□ND175	□ND200	☑ND250	□ND300	□ND350	□ND400	540	ND250-540	2	□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	☑ND250	□ND300	□ND350	□ND400	441	ND250-441	2	□斜め切断	(2.0)度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断	()度,寸

※1 設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。 (例) ND300-600、ND200-550

(1) NDコアの形状寸法および重量

	外径		板厚t	単位質量	長さ筆	更 *3	材質	断面形状 **4*5
部材記号	(mm)	公差	(mm)	(kg/m)	(mn	1)		B B
ND150	152		16.5	69.8				
ND175	177		17. 0	85. 1			SN490B	+
ND200	202	+2.0	22. 0	124		+3.0]
ND250	252	-2.0	24. 0	184	150~	-0	**6	1
ND300	302		29.0	265			SN490B-ND	ND150~ND200 ND250~ND400
ND350	352		33.8	360				
ND400	402		38.6	470			SN490B-ND **6	

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
- ※3 NDコアの長さは1 Ommピッチで対応。
- ※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするかもしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること
- ※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
- ※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には 適合していないが、当該JISに
- 示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。
- ※7 NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。
- (2)適用する柱およびはり材
- a) 適用する柱材の材質および規格
- ·建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ·一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) STKR400
- b) 適用するはり材の材質および規格: 下記規格のH形鋼
- ·建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400B, C 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400
- 溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400A, B

3. 鉄骨躯体の設計方法

- おり、あらためて接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- c) NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規基準等によるものとし、通常の設計 フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、ND
- - ·(一財)日本建築センター「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」
 - ·同「2018年版冷間成形角形鋼管設計·施工マニュアル」

- a) NDコアと柱およびはりとの接合は鉄骨製作業者が行い、施工管理は鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技 術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- b)記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事 技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

(2)接合方法

- b) NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて
- c)NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、
- 等適切に処置する。

(3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

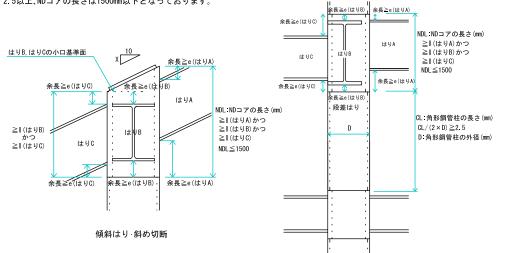
- a) 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- b) 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- トを準備する。

2. NDコア仕様の決め方

(1)NDコア長さLの設定方法と注意点

- a) NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さI以上となるようにする。 最小余長e、最小長さIは柱はりの組合わせで決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
- b)はりに傾斜がある場合には、はり取り付き部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
- c) 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さIを確保する。 小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
- d) 柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配) 以下とする。(斜め切断は一方向のみとし、部分切断は不可)
- e) NDコアは厚肉鋼管のため角形鋼管柱より剛性が大きい特徴があります。層に占めるNDコア全長の割合が大きい場合、曲げ とせん断力の比率に応じ、柱の変形性能が変わります。そのため評定CBLSS08-19の適用範囲において柱せん断スパン比は

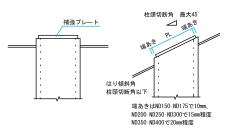
2.5以上、NDコアの長さは1500mm以下となっております。



(2) 柱頭部仕様

- a) 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
- b) 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。 (斜め切断は一方向のみとし、部分切断は不可)
- c) 柱頭部を斜め切断した場合は、はりの傾斜は切断角度以下とする。
- d) どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すこと

設計・施工マニュアル」および関連規基準に従うこと。



部材記号 (mm) (mm) (mm) (反厚	
寸法 板厚 寸法 材 部材記号 (mm) (mm) (mm) (mm)		
	mm)	
ND150 130 × 130 130 × PL		
ND175 155×155 ≧6 155×PL	≧6	
ND200 170 × 170 ≥9 170 × PL		
ND250 220×220 ≦9 220×PL	≧9	
ND300 270 × 270 ≥12 270 × PL	≥12	
ND350 310×310 ≦12 310×PL	≦ 12	
ND400 360×360 ≧16 360×PL	≥16	

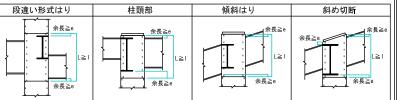
【NDコア長さLの採り方例】

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

·本仕様書は別紙「NDコア設計·施工標準仕様書【柱·はり組合せ編】」と合わせて使用

·本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準

書·同解説 JASS6鉄骨工事」(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管



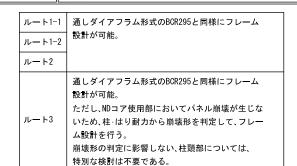
- a) NDコアは柱 はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足して
- b)NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイアフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材 置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- コアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を
- ·平成20年5月23日施行改正建築基準法
 - ·平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号

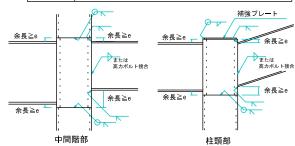
4. NDコア鉄骨製作要領

(1) 鉄骨製作方法

- a) NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接ま たは高力ボルト接合とする。
- 特記の無い限りは25mmとする。
- NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。 d) NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上る

- c) 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレー





補強プレート取り付け仕様

NDコア	斜め切断	無し	斜め切断	有り	隅肉溶接仕様
部材記号	寸法 (mm)	板厚※ (mm)	寸法 (mm)	板厚※ (mm)	溶接サイズ (mm)
ND150	130 × 130	30 ≥6 130×PL		≧6	≧6
ND175	155 × 155	=0	155 × PL	≦0	≧0
ND200	170×170	≥9	170 × PL	≧9	≥9
ND250	220 × 220	= 3	220 × PL	JI .	1
ND300	270 × 270	≥12	270 × PL	≥12	≥12
ND350	310×310	≦12	310×PL	≦12	≦12
ND400	360 × 360	≧16	360 × PL	≧16	≧16

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

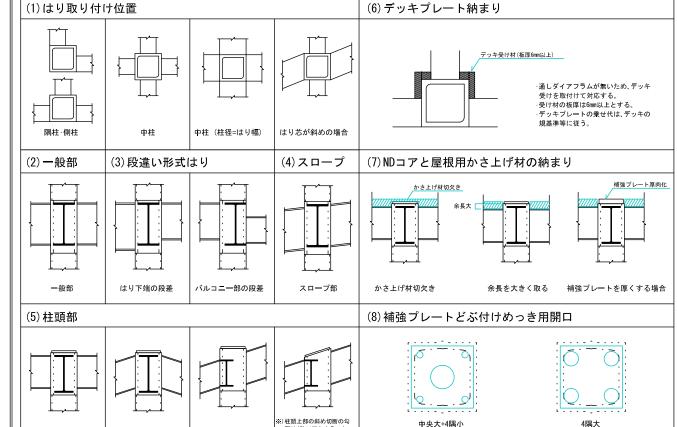
※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

5.NDコア納まり例

陸屋根

棟部

桁部



令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事

桁部(斜め切断)

298 2025 - 05 - 23

角形鋼管柱・H形鋼はり接合工法NDコア 設計·施工標準仕様書【基本仕様編】

※開口位置・大きさについては、どぶ付けめっきメーカーと相談して決めることが望ましい。

※開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

構造

09

·本紙は、「NDコア設計·施工標準仕様書【基本仕様編】」および「ND コア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用すること。

角形鋼管柱·H形鋼はり接合工法

NDコア設計·施工標準仕様書 【柱・はり組合せ編・別表 2/3 はり中広幅】

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さ I と余長の必要最小寸法 e*1 を確認する 1. 表の見方 ※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

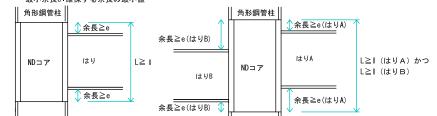
·柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管

はり材:400N級(SS400、SM400、SN400B·C等)のJIS G 3192記載のH形鋼

·NDコア長さL:NDコアの長さ

最小長さI:柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ ·余長:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離

·最小余長e:確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

	外径	≛B ^{**2}	板厚t	単位質量	長さ録	範囲 ^{※3}	材質	断面形状 *4*5
部材記号	(mm)	公差	(mm)	(kg/m)	(mm)	公差		B B
ND150	152		16.5	69.8				
ND175	177		17.0	85. 1			SN490B	$\begin{vmatrix} \frac{t}{H} \end{vmatrix}$ $\begin{vmatrix} \begin{vmatrix} b \end{vmatrix} \begin{vmatrix} b \end{vmatrix} \begin{vmatrix} b \end{vmatrix}$
ND200	202	+2.0	22.0	124		+3.0]
ND250	252	-2.0	24.0	184	150~	-0		
ND300	302		29.0	265			SN490B-ND **6	ND150~ND200 ND250~ND400
ND350	352		33.8	360]			ND150~ND200 ND250~ND400
ND400	402		38. 6	470]		SN490B-ND *6	

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
- ※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
- ※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを
- | W14 | MUコア側面には各接と一下の盗りエかりかめるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするが、もしくははりりエフを切り欠くなど適切に処置すること。
 | W5 | MDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
 | W6 | SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質10外観、11試験、12検査、13再検査の 各規定に適合している。

3 注意点

・組合せ表の最小長さ I 、最小余長 e は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。 ・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。 4. NDコア最小長さ I と余長 e ※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。 4-1. ND150~ND200

		NDコア				ı	ND150							ND	175					T				ND2	00				
	柱	径(材質)		□150	(BCR29	95)		□15	50 (STKR400))		□17	5 (BCR295)			175 (S1	TKR4	00)	1		1200 (BCF	295)			200 (ST	KR40	0)	
	仕	板厚	6		9	12	6	i	9	12	6		9	12		6	9		12		6	9	12		6	9		12	
	最/	ト長さ I 最小余長 e	1 6	e I	е	I e	ı	е	ı e	I e	ı	е	ı e	I е	ı	е	ı	е	ı e		I e	I e	ı	е	ı e	ı	е	I e	
		H-148 × 100 × 6 × 9	212	198		198	217		198	198	243	35	217	198	25	0 30	230		198		198	198	198		198	198		198	H-148 × 100 × 6 × 9
		H-194 × 150 × 6 × 9																_		2	244	244	244		244	244		244	H-194 × 150 × 6 × 9
		H-244 × 175 × 7 × 11	//	//		//		/,	///	///	294		294		29	4	294		304	_		336	305		294	294	_	320	H-244 × 175 × 7 × 11
		H-294 × 200 × 8 × 12	//,	/ /	//	///	1/		//	//.	//	/ /	///	///	X.	//	//		///	43	344	344	344		344	344		344	H-294 × 200 × 8 × 12
		H-340 × 250 × 9 × 14	//	/,	/ /	//,	//		///		//	Ι,	//	//	\vee	//	/ /	/ /	///	X	///	///	//	/	1//	//,	Ι.		H-340 × 250 × 9 × 14
		H-390 × 300 × 10 × 16	//	//	/	//	$X_{/}$	//	///	///		/	//	//		//	//	/,	//	\downarrow	///	//.	//	/	/ / /	//	/		H-390 × 300 × 10 × 16
		H-440 × 300 × 11 × 18	//	//	//	//		/,	///	///			///	///	1,	//	//	/	//		//,	//	//	/ /	Y / ,	//		///	H-440 × 300 × 11 × 18
		H-482 × 300 × 11 × 15	///	//	//	///	1/		//	//,	//	//	///	///	X.	//	//		///	4.	//	//	//,	/		//	/ /	///	H-482 × 300 × 11 × 15
	中幅	H-488 × 300 × 11 × 18		/,	/	///	//		/10/		//	/,	//,	//	V	//	//	//	///	1	//	///	//	/	1//	///	Ι,	//)	H-488 × 300 × 11 × 18
$\neg \parallel$	はり	H-588 × 300 × 12 × 20	//	′ ∕\\	ÍG⁄	//	$X_{/}$	//	/NG/	///			/uo/	//		//	/11/	()	//	/	///	/MO/	//		/ / /	1	/		H-588 × 300 × 12 × 20
		H-594 × 302 × 14 × 23	//	//		//		/ ,	///	///	Y /		/NG/	///	1,	//	NG	1/	//		///	/NG/	//	/ /	Y / ,	/NG	ĺ /		H-594 × 302 × 14 × 23
		H-692 × 300 × 13 × 20	///	//	//	///	1/.	Ζ.	//,	//,	//	/	///	///	Ł.	//	//		//	1.	//	//	//	Ι,		//	//	///	H-692 × 300 × 13 × 20
в		H-700 × 300 × 13 × 24		//	//	///	1/			//	//	/ ,	//,	//,	Y	//	//	//	///	1			//	/			/,	///	H-700 × 300 × 13 × 24
ا		H-792 × 300 × 14 × 22	//		//	//.	X /	//	///	///		/	//	//		//	//	/ /	//.	$/\!\!/$	///	///	//		1//	//			H-792 × 300 × 14 × 22
		H-800 × 300 × 14 × 26	//	//		//	V_{ℓ}	/ /	///	///		/	//	///	1/	//	//	Ζ,	//		///	//	//	//	<i>Y / ,</i>	//			H-800 × 300 × 14 × 26
		H-890 × 299 × 15 × 23		//	//	//	1/,	Ι,	//,	///	//		///	///	1,	//	//	/	//	1	//.	//		/ ,	V/	//	//	///	H-890 × 299 × 15 × 23
⊒		H-900 × 300 × 16 × 28	ľ / .	//	//	///	1/	/	//	//	//	/ /	///	//,	X	//	//	/	///	1	//	//		/			/ ,	///	H-900 × 300 × 16 × 28
		H-912 × 302 × 18 × 34 H-100 × 100 × 6 × 8	150	150		150	150	_{-{	150	150	150	4	150	150	15		150	-	150	+	150	150	150	_/	150	150	-4	150	H-912 × 302 × 18 × 34
.				150		175	220	35				70		180	27			55		_	175	175	175		175	175		175	H-100 × 100 × 6 × 8 H-125 × 125 × 6. 5 × 9
		H-150 × 150 × 7 × 10	213 3	5 130		11/3	1220	33	190	173	203	70	233 43	100	127	- 10	240	33	200			200	200		215	200		200	H-150×150×7×10
, ゕ゙		H-175 × 175 × 7. 5 × 11		//		//	1	$\overline{}$		///	ļ									⊢	290 35		250		225	285	30		H-175×175×7.5×11
の	広幅	H-200 × 200 × 8 × 12		//	/ /	///	//			//		,	///			//	//			_			330	60	250	255	$\overline{}$	345 65	H-200 × 200 × 8 × 12
	はり	H-250 × 250 × 9 × 14	//	N	a/	//	X /	//	NG/	///			//	//		//	//	/ ,	//	F		7	7	Ť	77	7/	$\overline{}$		H-250 × 250 × 9 × 14
		H-300 × 300 × 10 × 15	//	′ ''	٧/	//	1//	/ /		///	Y /	/	NG/		1/	//	∕NG	ν.	//		///	NG.	//	/	/ / /	/N(\mathcal{A}^{\prime}		H-300 × 300 × 10 × 15
		H-350 × 350 × 12 × 19	[//	//	//		W.	/,	//,	///	V/	/		///	1,	//	/			1	//,	/"/	//	//	<i>Y / /</i>	/	~/		H-350 × 350 × 12 × 19

4-2. ND2	250~ND350																													
	NDコア					ND250									ND300									N	D350					j
	径(材質)		□250	0 (BCR295)			□250	(STKR400)			_	□300 (BCR2	95)				□300 (STKR	R400)	_			□350 (BCR29	5)				350 (STKR4	100)		j
	板厚	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	19	6	9	12	16	19	9	12	16	19	22	9	12	16	19	22	j
	最小長さ 最小余長 e	I e	I e	1 6	e I e	e I 6	e I	e I e	ı I e	I e	I e	I e	1 -	e I	e I	e I e	I e	I e	I e	I e	I e	I e	1 0	e I e	I e	I e	I e	e I e	I e	
	H-148 × 100 × 6 × 9	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	H-148 × 100 × 6 × 9
	H-194 × 150 × 6 × 9	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	244	H-194 × 150 × 6 × 9
	H-244 × 175 × 7 × 11	335	310	294	294	294	320	300	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	294	H-244 × 175 × 7 × 11
	H-294 × 200 × 8 × 12	344	400	380	344	344	344	394	354	370	353	344	344	344	344	358	344	344	344	344	344	344	344	344	344	344	344	344	344	$H-294 \times 200 \times 8 \times 12$
	H-340 × 250 × 9 × 14	390	390	390	492	75 390	390	390	390	390	460	480	435	395	390	390	470 3	35 455	422	430	407	390	390	390	435	420	390	390	390	$H-340 \times 250 \times 9 \times 14$
	H-390 × 300 × 10 × 16	//	777	//	///	///	///	///	///	440	440	440	575	90 560	85 440	440	440	440	505	440	565 70	525	488	445	440	440	542	60 515	480	H-390 × 300 × 10 × 16
	H-440 × 300 × 11 × 18	Y / Z	///	///	///	X/	///	///	///	490	490	490	490	525	490	490	490	490	490	490	490	640 90	605	65 560	490	490	510	625 7	0 595 60	H-440 × 300 × 11 × 18
	H-482 × 300 × 11 × 15	V/	///	///	///	Y/	///	///	///	532	532	532	532	532	532	532	532	532	532	532	532	570	532	532	532	532	532	555	532	H-482 × 300 × 11 × 15
中幅	H-488 × 300 × 11 × 18	7//		//.	///	///	///	///	///	538	538	538	538	538	538	538	538	538	538	538	538	603 35	635	40 590	538	538	538	538	595	H-488 × 300 × 11 × 18
はり	H-582 × 300 × 12 × 17	7//	///			///	///	///	///	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	632	H-582 × 300 × 12 × 17
	H-588 × 300 × 12 × 20	Υ/,	///	///	///	X/	///	///	///	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	638	H-588 × 300 × 12 × 20
	H-594 × 302 × 14 × 23	V/	///	///	///	///	//	///			7//	NG	77	//	///	777	/ NG/	7//	77	644	644	644	644	644	644	644	644	644	644	H-594 × 302 × 14 × 23
	H-692 × 300 × 13 × 20	7//		NG/	///	///	///	NG/	///	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	742	H-692 × 300 × 13 × 20
	H-700 × 300 × 13 × 24	7//	///		///	///	///	///	///	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	H-700 × 300 × 13 × 24
	H-792 × 300 × 14 × 22	γ/,	///	///	///	X/	///	///	///	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	842	H-792 × 300 × 14 × 22
	H-800 × 300 × 14 × 26	V /	///	///	///	///	//	///		850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	850	H-800 × 300 × 14 × 26
	H-890 × 299 × 15 × 23	7//		//	///	///	///	///	///	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	940	H-890 × 299 × 15 × 23
	H-900 × 300 × 16 × 28	7//	///		///	///	///	///	///	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	H-900 × 300 × 16 × 28
	H-912 × 302 × 18 × 34	7//	///	///	///	X/	///	///	///	177	$\overline{//}$	/ NG /	///	777	///	///	/ NG/	$\overline{}$	///	962	962	962	962	962	962	962	962	962	962	H-912 × 302 × 18 × 34
	H-100×100×6×8	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100 × 100 × 6 × 8
	H-125 × 125 × 6.5 × 9	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125 × 125 × 6. 5 × 9
	H-150 × 150 × 7 × 10	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150 × 150 × 7 × 10
広幅	H-175×175×7.5×11	275	250	225	225	275	260	235	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	H-175×175×7.5×11
はり	H-200 × 200 × 8 × 12	326 4	5 316 3	5 302	250	310	325	40 315 3	30 275	280	262	250	250	250	283	268	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	H-200 × 200 × 8 × 12
10.7	H-250 × 250 × 9 × 14									385 30	401	50 387 3	5 357	315	300	410	55 396 4	15 377 3	5 345	348	325	300	300	300	353	340	305	300	300	H-250 × 250 × 9 × 14
	H-300 × 300 × 10 × 15	//	///	NÆ /	///	/ /	///	MC /	///	350	430	35 510 10	5 510 1	05 465	75 350	350	430	510 10	5 510 105	485 90	465 70	425 30	387	350	470 6	60 475 G	0 440 4	40 412 3	380	H-300 × 300 × 10 × 15
	H-350 × 350 × 12 × 19	7//	//,	ixu /	///	/	///	my/		///	$\overline{}$	/N6 /	//	///	///	777	/ NG/	$\overline{}$	777	400	580 105	5			400	400	585 1	10		H-350 × 350 × 12 × 19
	1											<u>, 1, u. /</u>					, .			1										

(Ver6.1 2022.9)

NDコア設計・施工標準仕様書 【柱 はり組合せ編・別表 2/3 はり中広幅】 令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事 298 2025 - 05 - 23 Scale 1/

構造 10

特記仕様書

- I 工事概要
 - 1. 工 事 場 所 高知県安芸郡北川村宗ノ上川
 - 2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令 別表第一
水力発電所	鉄骨造	1 階建	72. 17 m ²	(15)項

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

項

動力機器(雷動機など)への接続 ※本工事 別途工事

図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

※本工事 別途工事

電話保安器用接地

3. 工事種目

建物別及び屋外 工 事 種 目	水力発電所	屋外
電灯設備	0	
動力設備		
高圧引込設備	0	0
自家発電設備		
避雷設備		
非常灯設備		
構内交換用配管設備		
インターホン設備		
テレビ共聴設備		
電気時計設備		
放送設備		
機械警備用配管設備		
トル呼出表示設備		
火災報知設備		
接地工事	0	0
構内線路		0

Ⅱ 工 事 仕 様 1. 共 通 仕 様

図面及び特配仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版(ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版)及び電気設備工事標準図(令和7年版)による。

- 2 特 記 什 村
 - 1)項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
 - 2) 特記事項のうち選択する事項は〇印のついたものを適用する。ただし、〇印のない場合は※ 印を適用する。

① #%% #-才	設備機材等指定表による。
② 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。
	官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
	自家用電気工作物保安管理業務委託先
	四国電気保安協会 中央電気保安協会 ()
③工事用仮設物	 構内に作ることが ・ できる () できない
4 建設副產物	次のものは原則として再生クラッシャランを使用する。
● 建設區仍至48	(屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業)
	アスファルトは原則として再生品を使用する。
	工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。
(5) 建設発生土の処理	※構外搬出
	機出先の名称(
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	その他搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。
(6) 女类京森特の知理について	○構内指定場所に敷き均し 構内指定場所に堆積
6 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課 特配仕様書(共通編)「産業廃棄物の処理について」によること。
(7) 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 別途工事
	補 強 ※別途工事 本工事
	自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ
	※別途工事 本工事
	天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) 〇 本工事
	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 別途工事
	埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮枠 ※本工事 別途工事
	補 強 ※別途工事 本工事
	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 別途工事
	屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む)※別途工事 本工事
	屋外の受変電設備基礎 ※本工事 別途工事

- ⑧ 電影系泉 类頁
- ⑨ 呼び線
- (1) フラッシュプレートの材質(1) カバーフ・レート の用途別表示
- 12 主妾 封也 本亟
- ____
- ③埋設表示
- 14 再使用機器
- 15 絶縁抵抗の測定
- (i) 本甫 (多 な ど(i) 屋上・屋側の支持金物
- 18 **糸吉 湿客 IS方 ユヒ** (19) はつり・非破壊検査
- 20 天井仕上区分
- ② 配線器具
- ② LED照明器具
- ② 照明器具の接地 24 照明器具用位置ボックス
- ②5 一般照明器具の照度測定
- _
- 26 非常用照明器具の照度測定 27 分電盤分岐回路
- 28 テレビ共同受信設備
- ______
- ② 構内埋設線路
- ③ 執務並行改修の単価の適用
- ③耐震施工

- EMケーブルで規格等の配載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
- 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
- 長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
- 樹脂製 ① 新金属ステンレス
- シール等を貼付する。
- 下記による。

- 1				
l	接地の種類	記 号	接地抵抗值	接 地 極
l	共 同 接 地	EAED	10Ω以下	EB (14¢) x 3連-2組
l	へ 種	EA	10公以下	EB (14¢) x 3連-2組
l	B 利重	ΕB	150/IsΩ	EB (14¢) x 3連ー2組
l			Is=1線地絡電流	
l	□ 種	ED	100Ω以下	EB (10φ) x 1
l	○種	EC	10Ω以下	EB (14¢) x 3連-2組
l	避雷用	EL	10Ω以下	EP x 1
l	高圧避雷用	ELH	10Ω以下	EB(14φ)x3 連一2組
1	遊電 配供用 取 パ 井 田 技	地極の事子	苦细垢制	

上 言・ショラ・ファ 避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製

上記以外の接地極及び地中配線の表示 100m x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

ステンレス製とする。(装柱金物は除く)

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所 を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注 者もしくは県建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがあ る場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務 受注者もしくは県の担当の立会により確認すること。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

タンブラスイッチは大角型連用形とする。

壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。 単相200∨、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)の判断基準適合品 とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの(定格電流15A以上)及び配線が末端となる ものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。 測定箇所については監督職員と協議を行う事。

設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・双方向型 雷晃強度の測定 ・ 要 ・ 不要

・ 埋設深さ 特記なきはG L − 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート(ダブル)を管頂と地表面の中間に設ける。

本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人 建築研究所監修)による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

1)設計用水平地震力

機器の重量 [N] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特配なき場合、設計用標準水平震度 は、次による。

【設計用標準水平震度	1	• 特	定の施設	<u> </u>	般の施設
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
工 / 信 / 19 塔屋及び屋上	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
培産及び産工	水槽類(※1)	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
中間階	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類(※1)	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
地下及び1階	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類(※1)	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
ただ」番画機関	2のマンカー計算にむけ	よい計田博進业で	(重度は全陸2 ∩	レオス	

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2.0とする。

【備考】(※1)水槽類には燃料小出タンクを含む。

注:上層階の定義は次による。

2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階 13階建以上の場合は上層4階

重要機器 (自立配電盤 発電装置 (防災用) 直流電源装置) (交流無停電電源装置 交換装置 - 自動火災報知受信機) (中央監視制御装置 -)

) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

32)	コンクリート工事/骨材	本工事にお	いて、細骨材に海砂を配む	今した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を
		配合したも	のを優先的に使用するもの	のとする。
33	ハンドホール	ハンドホー	ルは現場打ち、ブロックの	のどちらでもよい。
(34)	工事・完成写真	写真の撮り	り方は、「国土交通省大臣	官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年
_		版による	工事写真撮影ガイドブッ	ク 電気設備工事編 平成30年版」による。
		下記のもの	Dを監督職員に提出する。	
		区分	提出形式	備考
			A4版カラ一印刷	A4版カラ一印刷には、写真内容説明を記入。
		工事写真	画像データ(JPEG形式)	
			※上記両方を提出	
			A4版カラ一印刷	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
		完成写真	画像データ(JPEG形式)	外観1枚を含む内外6枚程度。
			※上記両方を提出	完成検査時に提出。
35	工事完成図	共通仕様	書に従った完成図及び保守	に関する指導案内書を監督職員に提出する。
		A 4	l版 黒表紙金文字製本	1部 ※要 不要
		Α 3	3版 2ツ折り製本 1部	※要 不要
		C A	ヘロデータ CD-R	※要 不要
36	石綿含有建材の調査	工事着手に	先立ち、あらかじめ関係を	去令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
		事前調査は	:書面調査、現地調査にて行	〒う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を
		行うか監督	職員と協議を行う。	
		石綿含有建	材の設計時調査(情報提供	共)・有・無
37)	機器取付高	壁付、壁挂	形の機器等の取付高さは、	図面の記載のない場合は原則として下表による。

ア **木幾 岩帯 耳又 イブ 高** 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の配載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。(住宅は別途協議)

	ただし、監督	「職員の指示により	変更することがある。(住宅	は別途協議)	
名 称	測点	取付高(mm)	名 称	測点	取付高(mm
ブラケット (一般)	床上~中心	2, 100	避雷接地用端子箱	地上、床上~中心	800
" (踊場)	"	2, 500	接地極埋設標	地上~中心	600
" (鏡上)	鏡上端~中心	150	室内端子盤(廊下、室内)	床上~下端	300
避難口誘導灯	床上~下端	1,500以上	接地用端子箱	床上~下端	500
廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上~中心	(天井高) x0.9
スイッチ(一般)、アッテネータ	床上~中心	1, 300	呼出ボタン (身体障害者用)	"	900
スイッチ、インターホン子機(身体障害者用)	"	1, 100	復帰ボタン (")	"	1, 800
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般	"	300	廊下表示灯 (")	"	2, 000
" (和室)	"	150	テレビ機器収容箱	"	1, 800
" (台上)	台上~中心	150	火報受信機 (複合盤)	床上~操作部	800~1,500
コンセント(ガス漏れ検知器(LPガス))	床上~中心	200	火報総合盤	床上~中心	800~1,500
分電盤、制御盤、親時計	,,	1, 500	コンセント(車庫)	床上~中心	800
万电监、制即监、税时制	"	(上端1,900以下)	ガス漏れ検知器(LPガス)	床上~警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤(EPS、電気室)	"	1, 500	" (都市ガス)	天井面~中心	(天井面) -200
インターホン、副受信機	["	1, 300	引込開閉器箱(低圧)	床上~上端	2, 000
		144.40	(_ u +)	500 0 000 DIB	A

備考 (天井高) x0.9は天井高が、2,500~3,000mmの場合に適用する。

③ 室内空気汚染 (揮発性有機化合物)対策

	対象建築材料等	使用制限
,	① 合板, 木質系フローリング 構造用パネル, 集成材 単板積層材, M D F ルディケルデ・トコリア部 壁紙, 緩衝材, 断熱材 保温材, 仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, スチレン, トルエン, キシレン, エテルベンゲンを含有 していない水性系のものとする。
1	③ 木材保存剤 (防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし 加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 內裝用接着剂 木工事用接着剂 配管用接着剂,接合剤	1) ホルムアルデヒド, アセトアルデヒド, スチレン, トルエン, キシレン, エチルベンゼンを含有してないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル, フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
	⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合は F☆☆☆又は同等品を使用する。)

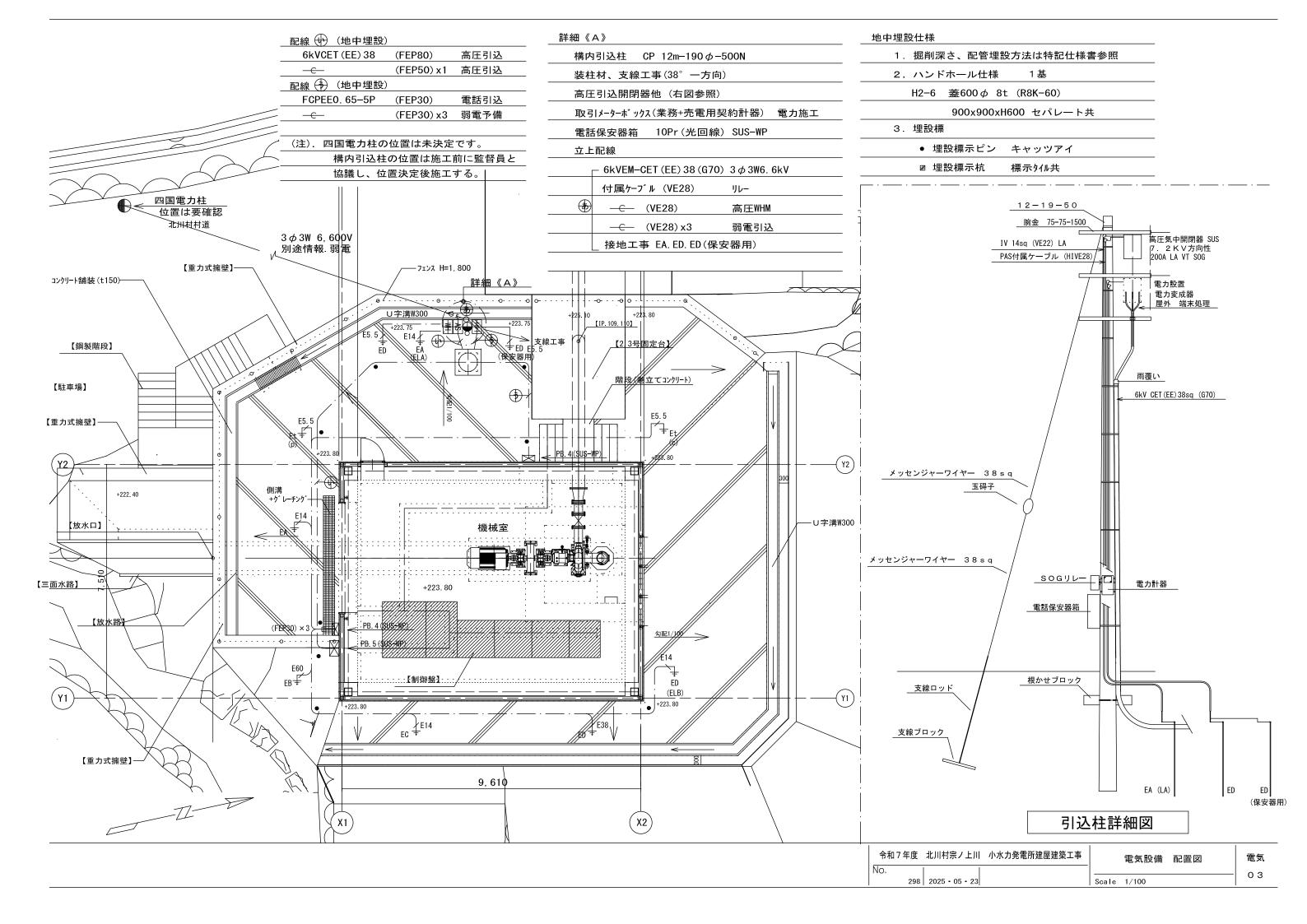
室内に関わる材料(上配①~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジーn – ブチル、フタル酸ジ-2 – ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

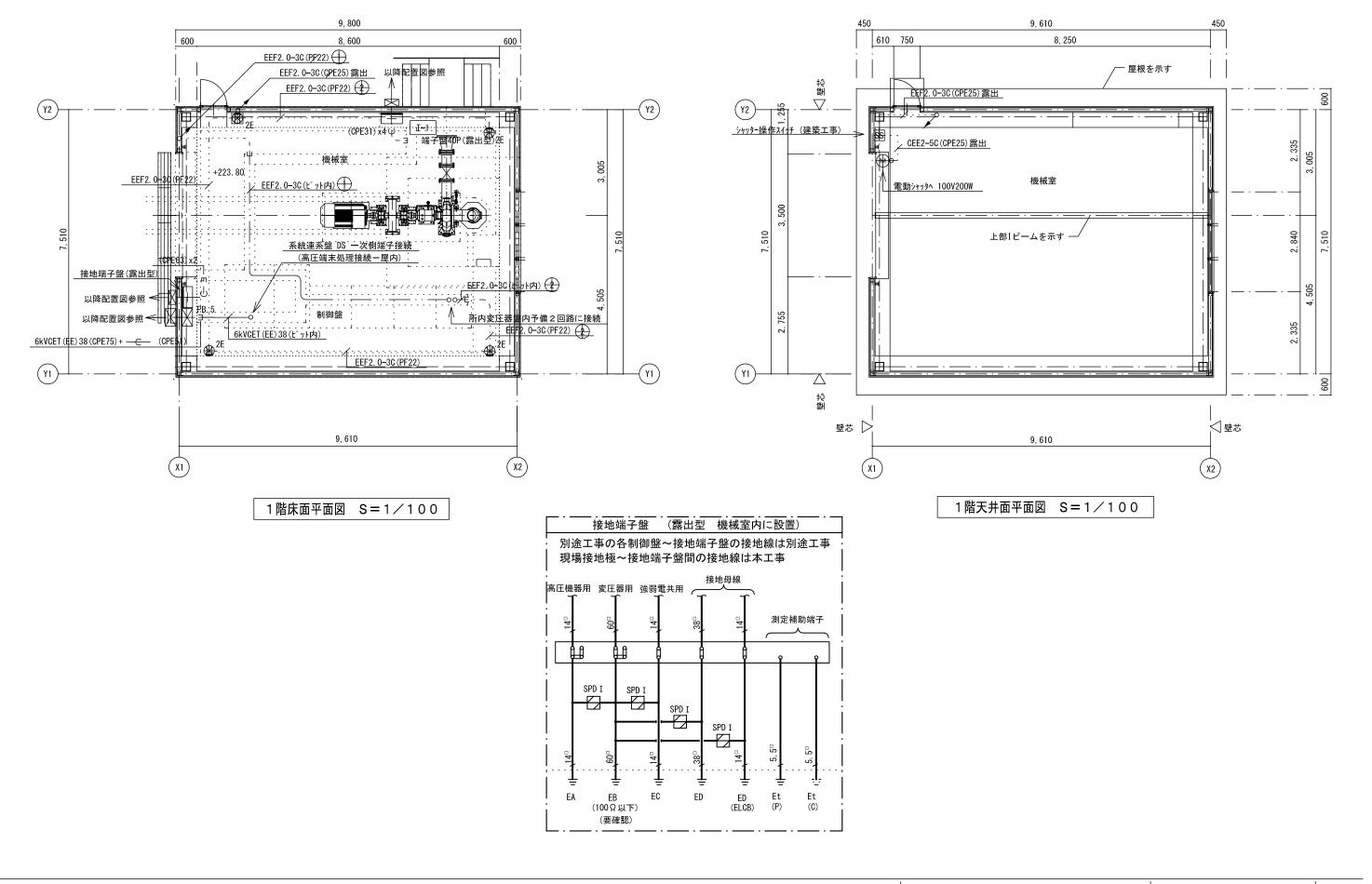
工 事 名 令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事(電気設備図) R070501

電気

0 1

機材名	指定品	機	材	名	指	定品	機	材	名	メーカー名	機	材 名	メーカー名	機	材	名	メーカ	一名
電線管類 - 同付属品	JISマーク表示品						LED照明器具			アイリスオーヤマ (株) 岩 崎 電 気 (株) (株) 遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック (株) パナソニック (株)	蓄電池 へ、ント形据置 制御弁式据 据置ニッケル・		エナジーウィズ株式会社 (株) GSユアサ 古河電池(株)					
電線類等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書(電気設備工事編) JISマーク表示品									三菱電機照明 (株) (株) YAMAGIWA 山田照明 (株)	監視カメラ装置	<u>s</u>	(株)JVCケンウット・公共産業システム					
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの						照明制御装置			東芝ライテック(株) パナソニック(株) 三菱電機照明(株)	-		TOA(株) パナソニックコネクト(株)					
配線器具類	JISマーク表示品						可変速電動機戶	用インバータ-	——装置	(株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機(株)	-							
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機	JISマーク表示品									(株)安川電機	盤類(公共建築 分電盤・制御 キューヒ [*] クル式配	盤	(株) イトウテック共 栄 電 機 工 業 (株)光 電 設 (株)森 澤 電 設(株)					
JIS C 8201-2-2 に適合するもの 電磁接触器							高圧交流遮断机	幾(真空)		東芝インフラシステムズ (株) 日 新 電 機 (株) (株) 日立産機システム 富士電機 (株)			上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評					
JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	JISマーク表示品									富士電機機器制御(株) 三菱電機(株) (株)明電舎	太陽光発電装置	<u> </u>	価名簿」に掲載されたもの 山洋電気 (株)					
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	JISマーク表示品						高圧限流ヒュー	-ズ		(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝インフラシステムズ(株) (株)日立産機システム		-	(株) GSユアサ 東芝インフラシステムズ (株) パナソニック (株)					
指示電気計器 JISC1102(指示電気計器)	JISマーク表示品						高圧負荷開閉器	B		富士電機機器制御(株) 三菱電機(株) エナジーサポート(株)	-							
非常用照明器具	(社) 日本照明器具工業会 のJIL適合マークが貼付 されたもの						向	ar		大垣電機(株) (株)新愛知電機製作所 (株)戸上電機製作所 日本高圧電気(株)								
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの									(株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)	交流無停電電源	原装置(UPS)	エナジーウィズ株式会社 山洋電気 (株) (株) GSユアサ 東芝インフランステムズ (株) 富士電機 (株)					
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの						高圧進相コン	デンサ		(株) 指月電機製作所	_		古河電池(株) 三菱電機(株) (株)明電舎					
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの						*1 E-	-ルドコンデ:	ンサに限る	東芝インフラシステムズ(株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株) 利 昌 工 業 (株) ※1								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの						高圧用変圧器			愛知電機 (株) 四 変 テ ッ ク (株) (株) ダ イ ヘ ン	_							
非常放送装置の蓄電池	JEA蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの									タカオカ化成工業 (株) ※2 (株) 東 光 高 岳 東芝インフラシステムズ (株) 日 新 電 機 (株)								
非常警報装置(非常ベル)	日本消防検定協会の認定証票が貼付されたもの						×2	モールド変原	干器に限る	(株) 日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株) 明 電 舎 利 昌 工 業 (株) ※2			Ē	電気設備	帯機木	才指定 ā	E	2025 • 05 • 2
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの								nn M	~~			工事名 令和7年		/上川 /1			R07050 電気 O 2
構内交換装置	(財) 電気通信端末機器 審査協会の認定品																	



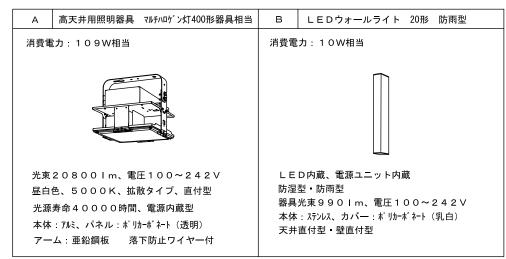


令和7年度 北川村宗ノ上川 小水力発電所建屋建築工事 No. | 298 | 2025・05・23

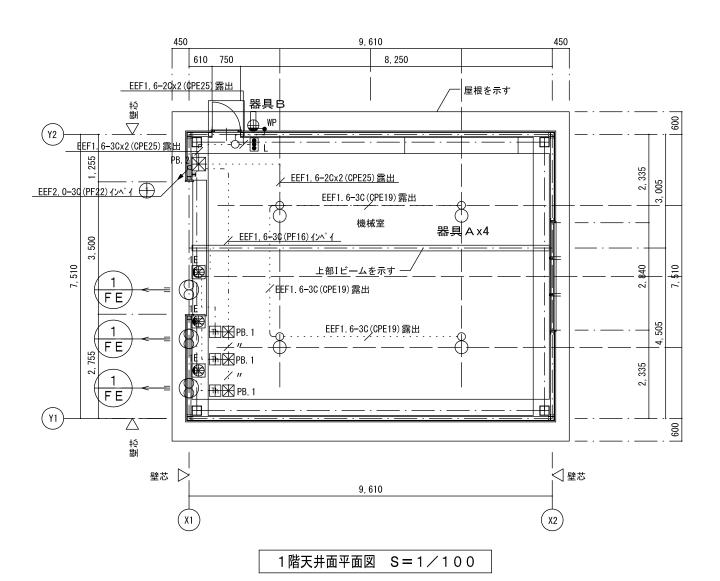
建屋 高圧・通信引込 コンセント設備平面図 Scale 1/100

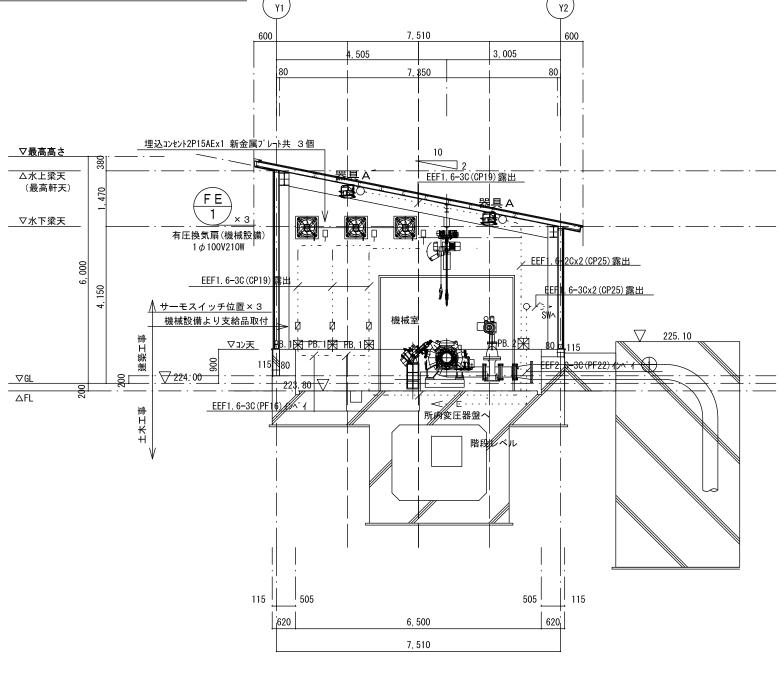
電気 0 4

照明器具参考姿図 (メーカー標準品とする)









断面図 S=1/100

 令和7年度
 北川村宗ノ上川
 小水力発電所建屋建築工事
 建屋電灯設備平面・断面図
 05

記号機器名	機器 仕様	電気	容量 W	台数	備考
有圧換的	雨 産業用 低騒音形 鋼板製 40cm×3100m3/H×100Pa サーモスイッチ (露出形) SUS製ウェザーカバー給排気タイプ 40cm用 鋼板製風圧式シャッター40cm用 鋼板製バックガード40cm用 不燃枠40cm用 (ボルト付)	1-100	210.0	3	サーモ発停制御

換気設備特記事項

施工は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書、標準図(機械設備工事編令和4年版)」による。

機器風量、静圧、は記入値以上とする。

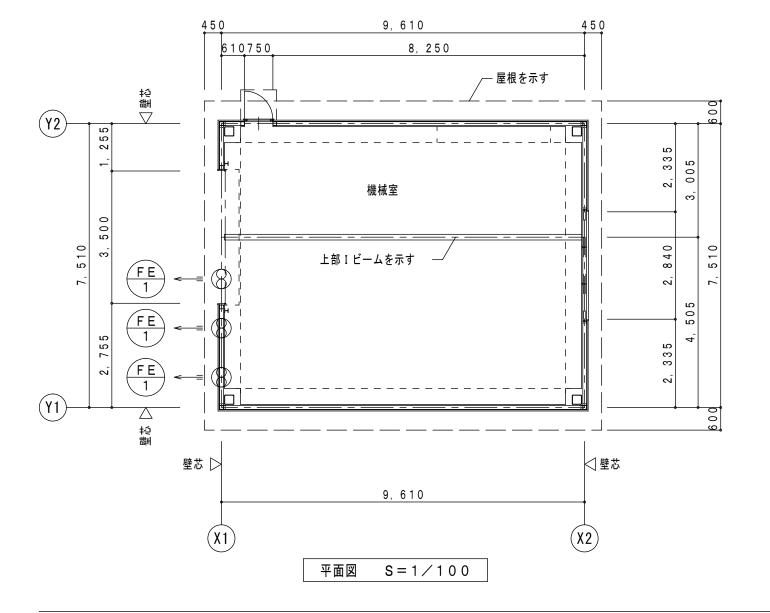
ウェザーカバーはSUS304製(給排気形・標準タイプ・SUS製防鳥網)とする。

ウェザーカバー屋外シーリングは本工事とする。

機器取付け用ボルト・ナットはSUS製とし、補強部材は建築工事とする。

有圧換気扇のON、OFFスイッチ・サーモ制御は電気設備工事とし、サーモスイッチは電気設備へ支給とする。

雨仕舞いには、充分対処して施工する。



必要換気量計算

発熱量

発電機:発電機効率93%とし損失を7%とする。理論水力240kW×(100%-93%)=16.8kW 配電盤: = 1.0kW

<u>発熱量合計: = 17.8kW</u>

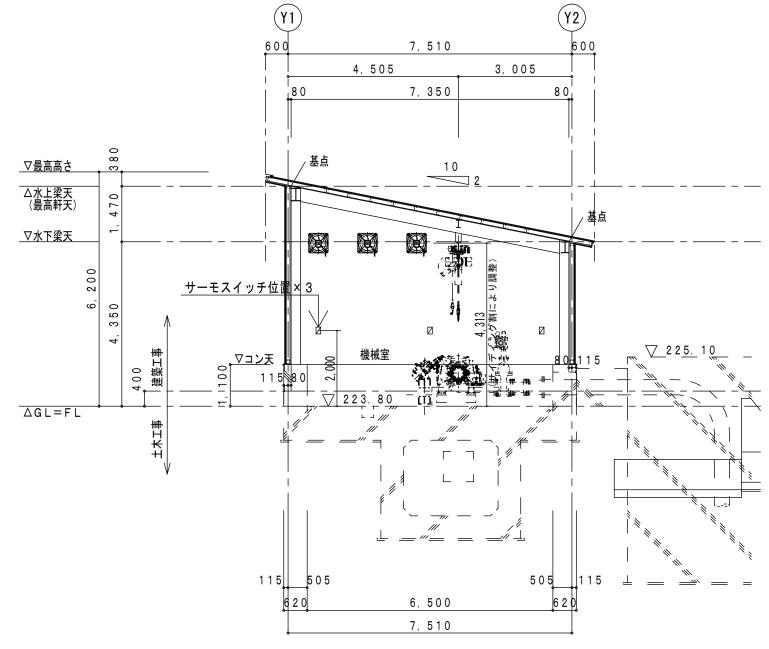
必要換気量Q

室内許容最高温度:40℃

外気温度(日最高気温の月別平均値の最高値):33.0℃

必要換気量= 1, 000×17.8 kW 0.33×(40.0°C-33.0°C) = 17800 2.31 Q=7706m3 ∕ h

建物負荷を考慮し余裕率1.2とする。 ∴Q=9300m3/h



機械

0 1

換気設備図